

会長のページ 地域医療と適正化 .....	河野 雅行	3
日州医談 医師会に入会しましょう!! .....	吉村 雄樹	4
随 筆 高校野球大好きドクター Vol.2 .....	山田 琢也	6
臨床推論の深淵 (前編) The abyss of clinical reasoning-to avoid the cognitive bias (Part 1) ..	北村 和生	8
今山大師祭 .....	石橋 俊秀	10
性差と身体能力 .....	中山 健	12
自動音声に耳を澄ます .....	谷口 二郎	14
宮崎グルメ探訪 小料理 秀 樹 (宮崎市) .....	尾上 耕治	16
エコー・リレー (609) .....	戸井田玲子, 佐々木 隆	19
メディアの目 病気を診ずして病人を診よ 高木兼寛の遺訓 ..	満野龍太郎	20
身近なお困りごと相談室 .....	高山 桂	21
国公立病院だより 宮崎県立こども療育センター .....	川野 彰裕	28
宮崎大学医学部だより 内科学講座 - 循環器・腎臓内科学分野 -	海北 幸一	30
専門分科医会だより 皮膚科医会 .....	西田 隆昭	31
医師国保組合だより 「第26回歩こう会」に参加して.....	上山 貴子	42
ニューメンバー .....	片岡 康志	54
診療メモ 成人先天性心疾患 (ACHD) - 専門医および非専門医の先生方へ .....	兒玉 祥彦	74
宮大医学部学生のページ 宮崎大学医学部附属病院の 木曜休診, 土曜診療について .....	野間 貫太	76

あなたできますか? (令和6年度医師国家試験問題より) .....	18
宮崎県感染症発生動向 .....	22
日赤だより .....	25
各郡市医師会だより .....	26
各種委員会 (宮崎県医師会医学会役員会) .....	32
九州医師会連合会第427回常任委員会 .....	33
九州医師会連合会第2回勤務医連絡協議会 (勤務医交流会) .....	34
九州医師会連合会令和7年度第2回連絡協議会 .....	36
日医インターネットニュースから .....	38
医師協同組合だより .....	40
医師国保組合だより .....	44
追悼のことば .....	48
会員の異動・変更報告 .....	50
ベストセラー .....	54
理事会日誌 .....	56
県医の動き .....	60
ドクターバンク情報 .....	61
行事予定 .....	65
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....	67
あ と が き .....	84

お知らせ カット・イラストの募集 .....	15
「はまゆう随筆」原稿募集 .....	17
県医師会総会の開催について (予告) .....	37
「CKDシール」のさらなる普及に向けた運用の変更について .....	41
第27回宮崎県医師会医家芸術展作品募集 ! .....	47
医師年金ご加入のおすすめ .....	49
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置 .....	55
日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました .....	73
郡市医師会への送付文書 .....	78
医療勤務環境改善支援センター .....	82
日州医事原稿募集のお知らせ .....	83

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：Digital illustration with Procreate〕

### I Became a Tree

This series of eight illustrations depicts the physical transformation of a cottonwood tree seed into a mature tree on the tallgrass prairie in the central United States. The theme is understanding and accepting bodily change - and the grief and new possibilities that can emerge from such change. Follow the seed as it loses its ability to be carried by the wind and must learn how to stay - and grow - in place.

この8点のイラストは、アメリカ中部の高草草原でハコヤナギの種が成木へと成長する過程を描いています。身体の変化を理解し受け入れること、そしてその変化から生まれる悲しみと新たな可能性がテーマです。風に運ばれる能力を失いつつも、その場で発芽し成長していく方法を学んでゆく種の様子を、ぜひ見守ってください。

Siri Araki-McGuire (会員家族)

## 会長のページ

## 地域医療と適正化

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

第8次医療計画では、医師・医療従事者確保、外来医療、新興感染症対応、救急・災害医療などの、5疾病6事業および在宅医療、医療機能分化と再編等の適正化、医師の働き方改革等について重点的に述べられています。需要と供給の原則からすれば、人口減少が進むに従い、経済規模を含めた社会の在りようも縮小せざるを得ません。一方で、人の生活にはたとえ少人数であっても医療は欠かせません。「適正化」の言葉に幻惑されないようにあります。

医療提供の機能分化案は一理あっても、第一線の地域医療の理念からは少し違和感があるように思えます。地域に求められるのは赤ひげやドクターコトーのように、何でもできる総合診療医ではないでしょうか。国もその必要性から「かかりつけ医制度」を押し進めようとしています。日医は制度化には反対で、かかりつけ医機能の充実を推奨しています。過去には社会の風潮で皆が専門医を目指した時代があり、その弊害が診療科の偏在となってしまいました。かかりつけ医機能を持った医師が地域に溶け込めば医師偏在は解消されるはずですが、いまだに充実しないのは総合診療医が専門医の1分野になってしまったからでしょうか。

更に適正病床数が以前から論じられています。国の病床数適正化支援事業により、多数の病床返還が進められています。更に減らすべきだと強調する政治家もあるようです。しかし、本当にそれだけ減らしてよいのでしょうか。単に病床数のみにこだわらずに、地域によっては必要な地域密着型の病床は確保すべきではないでしょうか。特に、一次救急や回復期の病床は地域には必要とされます。さまざまな意見はあっても本当に必要な病床数は何床なのか、小手先の改編ではなく、将来の人口動態まで含めて明確な数字を出して対応すべきです。数十年来、小さな改革が実施されてきたにもかかわらずいまだに根本的な解決が見られません。これは病床に限らず将来医療の位置付けが基本となります。適正な病床数のみではなく適正医療機関数、適正診療科数が、究極には適正医師数なども検討する時期に来ているのかもしれない。

医療をなくすことは絶対にできません。新しい構想の下に整理するには、拙速な施策は無理であり、既成の医療機関や、医療従事者への補償や対策も忘れてはなりません。前の改定が馴染んできたころには次の改定があるように、頻回改定の連続で第一線では変革に十分対応できない状態です。少しずつ改善してゆく方針もありますが、しっかりした計画の元での施策をお願いしたいものです。

(令和8年4月16日)

## 日州医談



## 医師会に入会しましょう!!

宮崎県医師会 理事 よし むら ゆう き  
吉 村 雄 樹

国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えることが医師会の役割であり、これに必要な医療政策などの実現には高い組織率が必要です。

高市政権誕生後も医療機関の厳しい財政状況に対応するための財源を確保するのは簡単ではなく、組織率の向上こそ政策提言力を高める近道です。

日本医師会は、医師会の組織力強化を喫緊の課題としており最重要事項の一つに掲げています。

しかし、若手医師がさまざまな事情から医師会から距離を置いている現状もあります。

時代の変化とともに医師会広報の手段も変わりつつありSNSを使った広報に取り組んでいる地域もあります。

宮崎県は、九州で唯一の医師少数県となっています。大学・医師会・県行政が一体となって医師確保の取組みを進めています。県内の医師総数は2,961人（令和6年12月末時点）で会員は1,947人（令和8年3月末時点）、入会率は約65%（全国7位）です。そのうち勤務医（臨床研修医含む）は1,197人と6割を占めています。

医師会入会促進のため臨床研修医全員を対象にした説明会を実施するとともに、入会承諾書の取得などを工夫することによって、臨床研修医全員の入会を目指しています。

さらに、女性医師の保育支援や医師を目指す中高生向けの啓発活動、大学医局員への医師会活動説明会など、多層的なアプローチを展開し、地域の強みである大学・行政との連携を生

かす体制を整備するばかりでなく、令和6年7月には県医師会内に「組織強化・将来構想委員会」を設置。さらに大塚康二朗常任理事を筆頭に毎月開催される小委員会で機動的に課題を拾い集め、非会員の勧誘と会員離脱防止を同時に行う戦略を進めています。

若手医師達が医師会に希望することは何なのか、若手医師や未入会の中堅医師たちの意見を広く聴取することから始めました。その中で分かったことは、「今後、医療を続けていくうえで医師会が必要な理由」「医師会費」に関しては関心が高いようでした。

また、保険事業（医師賠償責任保険・生命保険・傷害保険）の割引や医業経営支援事業（医師無料職業紹介・無料法律相談窓口）、購買事業（医学書・自動車・新築一戸建て・分譲マンション）割引を利用したいとの声がありました。

宮崎県医師会は、宮崎県医師協同組合と連携し先生方の医業経営の支援に取り組んでおります。また、プライベートで利用できるサービスも多数あります。宮崎県医師協同組合事業の詳細は、次頁の二次元バーコードをスキャンしていただくとたくさんのメリットが書いてあります。その中でも、私が興味深いと思いますのは

- ① 組合顧問弁護士の高山桂先生に個別法律相談ができる（初回相談は無料）

- ② 医師賠償保険や生命保険の団体割引がある
- ③ 医療用消耗品のWebオーダーができる
- ④ 医学書や一般図書を割引で購入できる

- ⑤ メディカルカードを作成することで宮崎山形屋にて3%引き（年4回5%引き）で買物ができる
- ⑥ 自動車（BMW、MINIなど）を割引で購入できる
- ⑦ 全国の新築戸建て・マンションを提携割引で購入できるが挙げられます。

この記事を読まれている方の大多数が医師会

員であることを承知しておりますが、身近に未入会の先生がおられましたら、こんな魅力いっぱい医師会にぜひ入会を勧めていただきますようご協力をお願い申し上げます。

すでに会員の皆様は今まで以上に、医師会活動にご協力いただくとともに医師協同組合の充実したさまざまなサービスをお気軽にご利用ください。

MIYAZAKI Medical Cooperative Association

# 宮崎県医師協同組合 事業のご案内

宮崎県医師協同組合は、

1985年10月に設立されました。これからも相互扶助の精神に基づき、宮崎県医師会・県下の都市医師会と連携し、主に医業・保険・くらしのサポートを提供しながら、組合員先生方の経済的地位の向上と医業経営の支援に取り組みます。

## 主な事業内容



医業経営  
支援事業

事業承継(開業・閉院)相談事業  
医師無料職業紹介  
(ドクターバンク)事業



各種相談事業

当組合顧問弁護士による  
無料法律相談  
提携銀行による個別の金融相談



購買事業

医療用消耗品、医学書・書籍などの  
カタログ販売・医療機器、  
レセコン・電子カルテの斡旋  
(医師協割引適用)



保険事業

団体割引を適用した  
医師賠償責任保険、所得補償保険、  
自動車・火災保険・団体定期保険  
(グループ保険)などの販売



斡旋事業

分譲マンション・戸建住宅、  
車両などの斡旋  
(医師協割引適用)



カード事業

宮崎県内の医療従事者だけが  
取得できる  
永年会費無料の優遇カード  
(当組合メディカルカード)の提供



MIYAZAKI Medical Cooperative Association

宮崎県医師協同組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1-101 宮崎県医師会館 1F

TEL 0985-23-9100 (平日 9:00~17:30)

FAX 0985-23-9179

Mail isikyou@miyazaki.med.or.jp



当組合HPを  
ご覧ください



## 随 筆

## 高校野球大好きドクター Vol. 2

宮崎市 <sup>やま</sup>山 <sup>だ</sup>田 <sup>たく</sup>塚 <sup>や</sup>也

昨秋の小生の拙稿に恐縮ながらパラ・パラと有り難いことに反響をいただいた。先生方や読者の皆様の中の高校野球ファンにお楽しみいただけると幸甚に存じる。

## もう古豪とは言わせない

前は言及できずじまいだった古豪に触れる。1964、1965に宮崎商、高鍋が連続夏全国4強。いずれも力のあるチームだったようだが、特に宮商は逸機を重ね大魚を逸したと当時を知る人から聞いたことがある。

私がリアルタイムに知っている甲子園に出た両校は、1983夏は清野（せい）投手、俊足強肩好打の外野手 坂口（現 NHK解説者 坂口裕之さん）、横山を中心に甲子園1勝、1998春は右の剛腕・矢野 修平、その年のMRT招待高校野球で松坂（横浜）に旧県営球場にてホームランを見舞った小澤らで選抜8強の高鍋。2008夏 左の本格派・赤川を擁し甲子園1勝、2021は春夏連続甲子園、2024・2025と本県では61年ぶりとなる夏連覇と、混戦が常の宮崎にあって出色の戦績を積む宮商だ。

## 宮崎は投手王国

甲子園組はもちろん、非出場組でも福盛 和男（都城1994 ※現 UMK, JOY FMキャスター/リポーター 福盛さん）、武田 翔太（宮崎日大2011）、山本由伸（都城2016）、藤川 敦也（延岡学園2025）ら全国区の投手をとくに輩出する。稀に同じ代に“全国区”が同居する年もある。2001は右の寺原（日南学園）、左の神内（延岡学園 ※2000に2年生で甲子園）が双璧をなし、週刊ベースボール増刊 全国49地区予選展望号すなわち全国版の巻頭特集をこの2人が飾ったと記憶している。時代を遡ると1984は左の田口（都城）、右の芝（高鍋 ※1983に2年生“捕手”で甲子園）の両雄が夏の頂上決戦のマ

ウンドで相まみえた例もある。

## 「青い空 白い雲」

これは、「おそろしい 池田のパワー 水野のパワー」「荒木 大輔 鼻つまむ」「甲子園は清原のためにあるのか」などの名実況で知られるテレ朝・植草 貞夫アナの“植草節”だ。私は全国津々浦々の球場を訪ねたわけではないが、阪神甲子園球場は本当に素晴らしく、一方でひなたサンマリンスター宮崎も、そのロケーションも含め魅力的だ。サンマリンの命名には諸説あるが、長嶋 茂雄さんが命名者の一人だというのが今のところ正しい言い方のようだ。2001年開場で、当球場で初の夏切符を掴んだのは寺原投手の代の日南学園だ。

## 夏の全国 珠玉の20選

前は宮崎勢の、私がリアルタイムで知っているS53（1978）年以降の春夏甲子園110余試合から厳選8選を挙げた。今回は全国に拡げ、ただ夏だけで2,500試合ほどになり、春夏とすると選が両手2人分におさまりきらないので、夏のみという条件にした。①以下もベスト10に遜色ない“史上に残る”級の試合が目白押しだ。このセレクト、並びには異論もあるかもしれないが、感性に任せたあくまで私見なので、皆様それぞれのベスト20があられていいと思う。

- ① 箕島 4 - 3 星稜（延長18回サヨナラ 1979 3回戦）“神様が創った試合”と称されるミラクルの連続 先述のテレ朝・植草アナ「甲子園球場に奇跡は生きています」
- ② 横浜 9 - 7 PL学園（延長17回 1998 準々決勝）伝説の横浜最強世代 いわゆる3部作の第1弾
- ③ 早稲田実 1 - 1 駒大苫小牧（延長15回 2006 決勝）ハンカチ王子vsマーくん 37年ぶりの決勝引き分け再試合

- ④ 松山商6－3熊本工（延長11回 1996決勝）  
終回熊工1年 沢村の起死回生弾,そして松山  
商代わったライト矢野“奇跡のバックホーム”
- ⑤ 中京大中京10－9日本文理（2009決勝）い  
まだ史上最高の決勝戦と評する声もある  
“奇跡の19分間” テレ朝・小縣（おがた）裕介  
アナ「日本文理の夏はまだ終わらない」
- ⑥ 横浜7－6明德義塾（逆転サヨナラ 1998準  
決勝）3部作の第2弾。松坂の肘テープは  
がし、最後グラウンドに崩れた明德ナイン  
の姿が忘れられない
- ⑦ 佐賀北5－4広陵（2007決勝）“がばい旋風”  
NHK・小野塚 康之アナ（ラジオ）「あり得  
る最も可能性の小さい、そんなシーンが現  
実でーす」
- ⑦ 佐賀商8－4樟南（1994決勝）プロへ4人  
進むタレント軍団（⑦），福岡-田村のバッ  
テリ－“鹿児島 夏歴代最強チーム”（⑦’）を  
いづれも下馬評を覆し優勝した佐賀勢の決  
勝点は、奇しくも両戦とも満塁本塁打
- ⑨ 東邦10－9八戸学院光星（逆転サヨナラ 2016  
2回戦）終盤追撃からの逆転サヨナラでは  
史上最大点差 最終盤の観衆の判官びいき  
は賛否両論あるが、こんなミラクル劇を生  
涯初潜入の甲子園で目のあたりにして驚  
嘆・感動
- ⑩ 済美13－11星稜（延長13回TB逆転サヨナラ  
2018 2回戦）延長タイプレ時代ならでは  
の史上初 逆転サヨナラ満塁弾 テレ朝・山下  
剛（ごう）アナは、次のように絶叫  
「高校野球はすごい。高校球児はすごい」
- ⑪ 智弁和歌山13－12帝京（逆転サヨナラ 2006  
準々決勝）最終盤にビッグインニングの応酬。  
帝京は投手・万策尽きた総力戦だが、打順  
が4番・2年 中村 晃, 8番・1年 杉谷 拳  
士。杉谷（すぎや）さんは、現在解説者/リ  
ポーターでいじられ役のイメージが先行す  
るが、元・日本ハム在籍ながら日ハムの選  
手だけに肩入れせず平等で、しかも選手  
の長所にフォーカスした解説で好感が持  
て、いつも聴いていて素晴らしいと思う。
- ⑫ 金足農3－2近江（逆転サヨナラ 2018 準々  
決勝）“金農（カナノ）旋風”史上初 逆  
転サヨナラ2ランスクイズ。本塁付近で突  
伏した近江・有馬捕手の姿が忘れられ  
ない。
- ⑬ 大社3－2早稲田実（延長11回サヨナラ 2024  
3回戦）サヨナラスクイズ阻止に変則“5  
人内野”の名将 早実・和泉采配
- ⑭ 岡山理大付5－4智弁和歌山（逆転サヨナラ

1999 準決勝）負傷で走れない理大付・馬場  
の放ったサヨナラ打決着のゲームは岡山勢  
のベストバウト

- ⑮ 駒大苫小牧10－9青森山田（逆転サヨナラ  
2006 3回戦）ややもすると駒苫－早実の陰  
に隠れがちだが、実はこちらにも壮絶だった  
津軽海峡対決

#### 昭和 平成 令和 … 連綿と

- ⑯ 沖縄尚学5－3仙台育英（延長11回 2025 3  
回戦）
- ⑯ 県岐阜商8－7横浜（延長11回逆転サヨナラ  
2025準々決勝）記憶に新しい2025のツ－  
トップ。私は甲乙つけ難い。沖尚、横浜と  
も2026も楽しみ。
- ⑱ 星稜4－1智弁和歌山（延長14回TBサヨナ  
ラ 2019 3回戦）令和を代表するロング  
ゲーム。星稜は熟投の奥川、捕手は山瀬、  
智弁には強打の黒川、細川、東妻（あづま）
- ⑲ 松商学園4－3四日市工（延長16回サヨナ  
ラ 1991 3回戦）②などとともに平成を代  
表するロングゲーム。大会を代表する右の  
上田、左の井手元の投げ合い。結末はサヨ  
ナラ押し出し死球
- ⑳ PL学園3－2高知商（逆転サヨナラ 1978 決  
勝）“逆転のPL”終回3点。ちなみに前の準  
決勝 中京戦も終回4点差を追いつき延長に  
持ち込みサヨナラ勝利。選手たちが土壇場  
で打席に入る前に自身の胸に手をあてがい  
打ってきてひっくり返す神がかり的な底力  
は子ども心にも不気味でコワささえ感じた。

#### 視れば蘇る、聴けば思い出す

これらは、社会人時代は昼休みに病院医局や  
医務室でのテレビ視聴でクライマックスをみ  
れたものもあれば、出張中に列車の中でラジ  
オ聴取できたものもある。皆様も、お仕事  
などでその一部しか、あるいは全くみられ  
ていないものも多いと思う。ランニングス  
コアだけみても、壮絶さが判るし、動画で  
劇的シーンをレビューもできる。またダイ  
ジェスト番組 熱闘甲子園のテーマソングも  
大会を彩る。「Tomorrow」（浜田 麻里）  
を聴けば松井 秀喜（星稜）選手を思い出  
すし、延岡学園が全国準優勝した年は、は  
からずも本県出身シンガー小淵さんらコ  
ブクロの「ダイヤモンド」だった。旧ジャ  
ニーズ系の「夏疾風（なつはやて）」（嵐）  
、「オモイダマ」（関ジャニ∞）、ガールズ  
グループの「光と影の日々」（AKB48）、「gl  
ory colors～風のトビラ～」（ZONE）など  
も印象深い。さあ今年はどんなドラマが  
生まれるのか。

## 随 筆

## 臨床推論の深淵（前編）

## The abyss of clinical reasoning – to avoid the cognitive bias (Part 1)

日南市 北村胃腸科眼科 <sup>きた</sup> <sup>むら</sup> <sup>まさ</sup> <sup>お</sup> 北 村 應 旺 (和生)

時間に対する感覚は、年齢の逆数に比例するという（Paul Janet）が、もう16年も前の出来事をつい最近のように感じるのは年をとった証拠だろう。県境の山村で30年以上にわたって僻地歯科診療に従事していた義兄（姉の夫）が、体調不良で当院に入院してきたのは、その年の11月も終わるころであった。2か月ほど前から動揺性の発熱が出現し、隣接する村立病院を受診。当初は風邪と思われていたようだが、その後、突然38度を超す高熱と全身倦怠感、尿濃染が出現、検査で高度肝障害を指摘され、肝炎疑いで入院を勧められたのだ。ただ、肝炎ウイルスマーカーはいずれも陰性で、白血球増多と炎症反応（CRP）が強陽性であった。

前医での検査結果から、まず胆石による胆道感染症を疑い腹部エコーを施行した。脂肪肝と小胆石があったが、総胆管は正常上限で明らかな拡張はなかった。経過中、胆石発作は一度もなかったが、検査成績は肝細胞由来酵素と胆道系酵素が高値であり（ビリルビンは軽度上昇）、胆道に何らかの閉塞があり、それが感染を引き起こしていることを示していた。無症状だが胆石の総胆管出口（ファーター乳頭）への嵌頓で不完全閉塞があるかもしれない。それなら内視鏡的に乳頭切開を行い、バスケット鉗子を挿入して除去することができ（内視鏡的乳頭括約筋切開術）開腹手術を回避できる。もちろん下部総胆管癌も頭の片隅にあったが、入院直後から既に強力な抗生剤による点滴治療を始めていた。

続いて上部消化管内視鏡検査を施行した。フ

ァーター乳頭の観察が目的だ。型どおり食道、胃を観察し、幽門輪をくぐって十二指腸球部、さらに突き当りの急峻なカーブ（上十二指腸角）でスコープを右に捻りながら引き戻すと、土管のような十二指腸下行部が直視できる。おおッ、ファーター乳頭が小山のように盛り上がっている！スコープを少し先に進めて先端を屈曲させ、乳頭を正面視する。全体がつるんとした正常粘膜で覆われ、びらんや潰瘍性的変化はなく、開口部は不明瞭だったが全体が粘膜下腫瘍のような印象で、胆石嵌頓は否定的。ファーター乳頭部癌なら非露出型ということになるが、下部総胆管癌や膵頭部癌との鑑別も必要だ。

抗生剤点滴が奏功して数日で解熱し症状も軽快してきた。県立病院に依頼した腹部CTとMRCP（MRIによる胆管膵管造影）が終了し、やはり15mm大の乳頭部癌の可能性が高いとのこと。乳頭部癌は、発生頻度0.1～0.2%の比較的稀な癌であり、早期に発見して手術できれば予後良好である。不幸中の幸いと思ったのも東の間、第2報が届き、肝臓に転移巣（左葉に32mm、右葉に13mm）と肝門部および膵周囲に腫大したリンパ節を多数認めるとのこと。画像を確認すると、単純CTでははっきりしないが、造影CTで確かに転移を疑う不明瞭な陰影がある。肥満で条件が悪いとは言え、これだけ大きな病変がなぜエコーでわからなかったのだろう、腫瘍マーカーも陰性なのだが、と疑問に思ったが、それより衝撃の方が大きかった。

とにかく告知をしなければ話にならない。癌自体は比較的予後良好なのだが、肝臓に転移が

ある可能性があり、手術で治癒切除ができるかどうかは微妙なことを、本人と姉に伝えた。手術になると臍頭十二指腸切除術という大きな手術になるため、実績のある医療機関をネットで探した。まず、国立がん研究センター中央病院に連絡を取ったが、ちょうど年末年始に当たり、手術までかなり待たされそうな状況であった。そこで九州管内の医療機関を探したところ、熊大附属病院消化器外科が、この癌の手術実績があることが分かった。熊本なら整形外科医の弟がおり、かつて父も癌の治療で入院していたことがある（後述）。我々にとってはなじみ深く、義兄が転移のある癌の可能性あることを考慮すると、1日でも早く手術できる方が望ましかった。

年明け早々に転院し、術前検査を経て、1月末には手術できることになった。そこで転院前に吉田松陰の『留魂録』を差し入れた。考えたくはなかったが、最悪を想定して覚悟だけはしておいてもらいたかった。冒頭の辞世に続き、“30歳を前に未だ何一つ成し得ずに死んでいく自分を惜しいと思う人がいるかもしれないが、生きた時間の長短でその価値は決まらない。私の人生には既に四季が備わっており、私が蒔いた種がこれから花を咲かせ、実っていくのかわかどうかわからないが、同志諸君の中に、私の真心を憐れみ、それを受け継いでやろうという人がいるなら、生きた歳月に恥じないことになる”という死を前にした松陰の強い思いが語られている。ぜひ、義兄に読んでおいて欲しかった。それから映画「最高の人生の始め方 (Bucket List)」を二人して観た。

当院で施行した検査結果、画像ファイルと報告書を持たせて送り出したが、熊大での術前検査でもやはり転移ありと診断された。PETで肝病変や周囲リンパ節に集積がなく、同部への超音波内視鏡下穿刺吸引生検でも癌細胞が吸引できなかったにもかかわらず、である。非露出型乳頭部癌で転移の可能性は極めて低いのではないかと私は疑念を呈してみたが、弟に詳しい説明があり、術前カンファレンスで手術は回避、保存療法でいくとの方針が決まった。手術を強行すれば予後が極端に悪くなると念押しされたようだが、私は納得がいかなかった。差し

出がましいとは思ったが、義兄の命が懸かっている。すぐに主治医に手紙 (FAX) を送った。患者の全身状態が極めて良く、とても手術不能の末期がんには思えないので、とにかく開腹して肝臓の転移巣を術中迅速診断に出し、病理の判断を仰いで欲しい。もし転移が確認されれば、そのまま閉腹して頂いて差し支えないと。ついでに自分が熊大病理出身であることも申し添えた。

そして手術が執行された。開腹してすぐに、病理からの術中迅速診断で肝臓の結節性病変が転移ではないことが確認され、さらに13時間におよぶ手術が継続された。手術が無事に終わって喜んだのも束の間、そのあと2回の縫合不全がおこり、義兄は長らく生死の境をさまよった。手術から1か月以上経ち、我々が見舞った時も、顔色不良で視線が定まらず、後に夢の中で街中をふらつき回っていたと述懐している。その後、詳細な手術記録が届いた。乳頭部癌は予想どおりstage IIであったが、摘出された臍頭部に微細な臍腫瘍が見つかった。最も興味があった転移巣と思われていた病変は、病理組織学的には再生結節であった。

私はこの点が腑に落ちなかった。肝臓には優れた再生能があり、肝硬変では肝細胞が破壊されるとすぐに再生がおこり、この破壊と再生の繰り返しで肝臓は凸凹になっていくが、肝硬変の再生結節で3 cmを超えるものは稀だ。まして義兄は肝硬変ではなかった。病理出身の私には興味深かったが、外科の先生方は関心がなかったようだ。しばらく思い出しては考えるうちに自ら答えにたどり着いた。発症時を思い返すと、動揺性の発熱、炎症反応、肝胆道系酵素上昇などが2か月以上持続していたのだから、不完全胆道閉塞にともなう胆管炎から肝膿瘍の形成を考えねばならなかった。治療により膿瘍はすぐに吸収され、その空隙を肝細胞が増殖して埋めた、そのため3 cmもの大きな再生結節ができたのだ。エコーや単純CTで不明瞭だったのはこのためだ。周囲のリンパ節は炎症性、反応性腫大だったと思われる。実際、リンパ節転移はなかった。このように考えると、義兄の病気の全貌がすっきり説明できる。

(後編へ)

## 随 筆

## 今山大師祭

延岡市 井上病院 石<sup>いし</sup>橋<sup>ばし</sup>俊<sup>とし</sup>秀<sup>ひで</sup>

令和6年4月20日(土)に初めて今山大師祭に行った。九州の春三大祭の一つに数えられている。福岡県の「博多どんたく」が非常に有名だが、もう一つはインターネットで調べても不明だった。ご存じの方は教えてください。

車で行く<sup>と</sup>駐車場の問題があるので、井上病院近くの南延岡駅前バス停からバスに乗り、山下新天街近くで下車した。そこでは「のぼりざる物産展」が開催されていて、延岡市の農産加工品、清酒、焼酎、地ビール、ワタアメ、たこ焼き、クレープなどが販売されていて家族連れで賑わっていた。兄弟都市の福島県いわき市、姉妹都市の福井県坂井市や近隣の<sup>大分県</sup>佐伯市からの出店もあった。

一旦、JR延岡駅近くまで出て、今山大師参道を歩いた。途中の坂道には足の不自由な人向けの100円タクシー乗場が設けてあり、利用者が乗車している車とすれ違った。

本堂周辺では、沢山の人で賑わっていた。本堂の前で今山大師のキャラクター（こだいちゃん）と子どもたちが写真撮影していた。線香とロウソクを買って本堂で参拝し、その後、「平和の鐘」を1打し、合掌して家族の健康を祈願した。近くには、今山大師の由来や境内の

様子の説明パネルが設置してあった。混雑していて、弘法大師像に至る石段を登るのも大変だった。

途中でいろんな仏像に出会った。「七羅漢・観音様を“撫でて”いただき『七つの幸運』をいただけてください」という看板を見かけた。

1) 沈思羅漢：思いやりの心をいただきましょう。2) 普賢菩薩：分けへだてない心をいただきましょう。3) 韋駄天像：迅速対応・必勝成就をいただきましょう。4) 追福大菩薩：みんながいるから、私はしあわせ。5) 智慧羅漢：お接待の心をいただきましょう。6) 文殊菩薩：学業成就・合格祈願をいただきましょう。7) 滴水観音：優しい心をいただきましょう。成就石という石があり、「念ずれば花ひらく」と書かれていて、「この石は成就石です。なでると願いが叶うとされています」というパネルもあった。

頂上には弘法大師像（おだいっさん）が設置されていた（写真1）。その下から堂内をくぐった。入場は有料で記念に白いモチを1個もらえた。足元には、58か所参りの小さな札（足幅くらい）が横に並べてあり、横向きに1歩ずつ進むようになっていた。頂上に出ると、



写真1：弘法大師像

高さ18m、重さ11トン、足の大きさが62文（約1.25m）という像が間近に迫っていた。これは日本一の弘法大師像だそうだ。私も足を撫でて身体健康を祈った。よく見ると、いろいろな人が足を撫でるので、左足の第4指と第5指がピカピカしていた。4月21日(日)に今山大師祭のクライマックスは大名行列が予定されていたが雨のために中止になった。

令和7年の延岡市の「お大師さん」は、4月18日(金)～20日(日)の3日間に渡って開催された。この日は小雨だったが、予定通りに決行された（山下新天街南口～イオン延岡までの約2.4kmのコース）。

私は延岡駅から山下新天街まで歩いた。ここでは、県内外の26業者が出店する「延岡のぼりざる物産展」が開催されていて、多数の人出で賑わっていた。兄弟都市「福島県いわき市」や姉妹都市「福井県坂井市」からも自慢の品が出店されていた。

13:00のパレード開始に間に合わなかったもので、途中からパレードを観戦した。延岡美容組合の美容学校の花嫁姿の学生さん、続いて豪華なドレスの女性たち、絆信会の神輿と続いた。

パレードを追いかけたら、「Keiko Dance

School] の生徒たちによる激しいダンスが披露されていた（写真2）。さらに前に進むと、編み笠を被り白と紫色の衣装に身を包んだ延岡商工会議所の女性たちの踊りが見られ、イオン延岡近くでやっと先頭集団（市長がお殿様に扮する大名行列）に追いついた。武者姿の行進は見逃したが、終了してホッとしている姿を眺めた。



写真2：パレードの様子

その後、しばらくして、ガールスカウト延岡地区協議会の可愛い服を着た少女たちが姿を現した。最後にスタジオコスモの子どもたちが踊りながらダンスを披露してくれた。沿道には沢山の見物客で賑わっていた。

4月22日(火)の新聞によると、21団体約700人が多彩なパフォーマンスとともに練り歩いたとある。また、今山大師の境内で今山大師のキャラクター「こだいっちゃん」のテーマソング「こだいっちゃん音頭」が初披露されたそうだ。動画投稿サイトの今山大師チャンネルで聞いてみた（約3分）。

## 随 筆

## 性差と身体能力

な かな やま けん  
宮崎市 中山医院 中 山 健

マスコミの報道によると本年3月26日、国際オリンピック委員会（IOC）は2028年のロサンゼルスオリンピックから女子種目に出場する選手に性別確認のための遺伝子検査を実施すると発表。参加資格を「生物学的な女性に限る」としたのでこれによりいわゆるトランス女性（出生時の性別が男性で女性を自認するトランスジェンダー）の選手は出場が認められないことになりました。その理由として“科学的な知見に基づき男性として生まれたことが身体的な優位性をもたらす”と指摘。身体の性の発達が典型的でない「性分化疾患」の選手の参加も例外を除いて制限するとしてしました。なお検査は一度だけでSRY遺伝子の有無を調べるとのことです。米国のトランプ大統領はすでに昨年2月、トランスジェンダー選手の女子競技参加を禁じる大統領令に署名したそうです。

このような状況になった時代的背景としては2021年8月、東京五輪の女子重量挙げに性別適合手術を受けたトランス女性が五輪史上初めて参加。2023年3月、世界陸連が男性として思春期を過ごしたトランスジェンダー選手の女子カテゴリー出場を禁止。2024年8月、パリ五輪のボクシング女子で性別議論となったアルジェリアと台湾の選手が金メダル獲得等々の出来事がありました。IOCは1996年のアトランタ五輪を最後に女子種目に参加する全ての選手を対象とした性別確認検査の実施を廃止した経緯があり、これを基に国際人権団体など100を超える団体が今回の方針はジェンダー平等の著しい後退であり、女子スポーツを30年後退させることになるとしてその撤回を求めているそうで

す。さらに懸念されているのは遺伝子検査で、究極の個人情報といわれるデータが流失すれば重大なプライバシー侵害を招くリスクがあります。また非アスリートでの調査ではありますが、トランス女性の身体能力はホルモン療法1～2年の間に脂肪量の増加、筋肉量の減少や上半身筋力の低下が生じ、骨格や握力など一部の優位性が残る可能性はあるものの、ほぼ一般の女性のレベルまで低下し同等になるとの報告もあります。アスリートでの追試が望まれます。他方、女子アスリートの一部には今回のIOCの決定に賛同する声もあるようです。

私はスポーツ医学については全くの門外漢で知識もありませんが、トランスジェンダーや性分化疾患の診療に携わっていることから、今回の事にも関心を覚え、Web検索などで得た情報も含めて少し所感を述べさせていただきます。まずSRY遺伝子についてですが、周知のごとく本遺伝子はヒトを含むほとんどすべての哺乳類の男性（オス）が持つY染色体にあり胎生初期から機能して思春期以降は性ホルモン（主としてテストステロン）により骨格・筋肉を女性（メス）より優位に発達させます。その結果、筋力パワーはとくに思春期以降は男性が増強され、運動パフォーマンスにも種目によっては強く性差が生じます。例えば重量挙げ、跳躍やランニングなどです。他領域での性差についても研究があり2024年2月、金沢大学からの報告によると運動神経の活動特性（脳からの電気信号を筋肉に伝え、収縮させる運動ニューロンの活動）にも性差が見られるそうで女性の方が男性より過剰であり、また利き腕と非利き腕の比

較で女性は差がないが男性は後者が過剰だそうです。過活動は負担大をきたします。

次に体力についてです。現在小・中学校で行われている体力テストでは男子の方が女子を上回りますがこれは文科省が定めている体力の基準8項目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ）の内、女子のスコアの方が上回る柔軟性を見る長座体前屈を除く7項目は筋力によって左右されるので男子が優位になるのは当然の結果です。運動は生理学上では性差と大きな個人差が重畳し混在していることが分かっているので男女を分類しない研究が必要かと思えます。

ところで最近の知見によると、XXとXY以外の性染色体を持つ人が居ることや上述のSRYには発現量や発現時期、他の遺伝子との相互関係などの点で多様性があり、また性分化に関与する多数の遺伝子が解明されました。これらは相互に抑制・促進し発現量にも差が見られ、男女共に有するテストステロンやエストロゲンは思春期や更年期に大きく変化し、さらに血中テストステロンが男性よりも高値を示す正常女性が存在することなどが明らかになっています。すなわち現在では医学的に性（sex）はスペクトラムで多層的・連続的なシステムであるとの認識が深まっています。加えて2022年11月、北海道大学からの報告によると奄美大島のみには生息するアマミトゲネズミのオスはY染色体を持たず、性差のある領域は常染色体上に存在する遺伝子の上位で見つかったそうです。

あらためてスポーツについてですが、とくに近代スポーツはその発祥がイギリスのパブリックスクール（男子校）で課外活動の一つとして発展したもので、そもそも男性の体の資質に合ったものが選択され男性優位で制度化されたというのが定説です。従ってその基本制度は性別二分カテゴリーといえます。つまりスポーツは連続性・蓋然性をもつ性（sex）を男と女という性別二分のカテゴリーに押し込めてきたともいえます。オリンピックでの性別確認検査の実施やトランス女性の出場禁止はその状態をさらに進めることになるのではないのでしょうか。改善への対策ですが、現在オリンピックで性別なく競い合える競技種目は唯一馬術のみですので

今後は新体操などの種目を増やして性差による不平等を減じる努力も求められます。

気になるニュースがあります。クーベルタン男爵が創設し1912年から五輪正式種目となっている「近代五種」はフェンシング、水泳、馬術、レーザーラン（射撃+ラン）の異質な5種類の競技に一人の選手が1日（または2日）で挑戦し万能性を競うキング・オブ・スポーツと呼ばれる複合競技ですが、2023年10月、第141回IOC総会での決定で2028年のロサンゼルス五輪から馬術の代わりに障害物レースが導入されることになったそうです。その理由として「馬術は国によって競技環境整備の問題や安全面が課題になっているため」としております。このIOCの決定にともない国際近代五種連合（UIPM）主催の競技大会は2025年から馬術を除いて障害物レースを加えた五種目での開催が行われているそうです。余談ながらこの障害物レースは「オブスタクル」（OBUSTACLE）と称し、国内で放映中のテレビ番組「SASUKE」の海外版「Ninja Warrior」を基に考案され“振り返った壁”など8種類のエリアをクリアしてタイムを競うものだそうです。

近年、学術を含め社会のあらゆる分野を「ジェンダーに敏感な視点」で見直すことの必要性和有効性が示されるようになったといわれています。これは米国の教育哲学者バーバラ・ヒューストンという方が提唱されたもので、人間を生物学的性別に還元するのではなく人種、年齢、障害などの差異と交差するジェンダーを問い直すことを通じて多様な男女の個性と能力の発揮を目指していこうとするもので、当然スポーツにも適応されます。

最後になりますが、今回のIOCの決定について当院で診療しているトランス女性の3名（非アスリート）に意見をお聞きしたところ、1人は「能力があれば晴れの舞台に立ちたい気持ちにはなるだろう」、もう1人は「体力が明らかに自分より劣っているとわかる相手とは競いたくない」、最後の一人は「そのような場には出たくない」と三人三様でした。トランス女性を含む多くの女子アスリートのご意見やご希望を拝聴したいものです。

## 随 筆

## 自動音声に耳を澄ます

宮崎市 <sup>たに</sup>谷 <sup>ぐち</sup>口 <sup>じ</sup>二 <sup>ろう</sup>郎

2年前マンションに引っ越した。そのときびっくりしたことがある。お風呂を入れようと給湯器のボタンを押したときである。メロディー音に続き、「お湯張りをします。お風呂の栓の閉め忘れに注意してください」と突然喋り始めたのだ。それも女性の優しい声である。知り合いからそういう設備が最近風呂に付いている所が増えているという話は聞いていたが、あまりにも突然でびっくりした。

風呂のお湯が一杯になると「お風呂が沸きました」とまた女性の優しい声がする。お風呂に入り浴槽のお湯がぬるくなってきたので、目の前のボタンを押すと「追い焚きをします」とのアナウンス。また若い女性の声でスピーカーから流れてくる。操作する度に若い女性が優しく声かけしてくれるのである。

調べてみると音声付きの給湯システムは1998年から販売されたという。今から約30年前である。

女性の声に何の抵抗もないが、もしこれが男性だったらどうだろう。「追い焚きをします」と低い男性の声で聞こえてきたら、女性だったら多分周りを一瞬見まわし、男性が居ないことを確認するかもしれない。まあそんなことはな

いと思うが…。

考えてみれば今は至る所に自動音声があふれている。エスカレーターに乗れば「お乗りの際お気をつけください」。駅構内に入ると「間もなく大分行き特急にちりん4号がまいります。白線まで下がってお待ちください」。エアコンを点けると「AI快適自動、適温で運転します」とセッティングしたことを教えてくれる。

病院の血圧計も自動のものが待合室などに置いてある。前に置いてあるイスに座ると「腕を奥まで入れてください。体を横に向けてください。背筋を伸ばして開始ボタンを押してください」と優しい声でほっとする。

スーパーのレジでカードで決済しようとする。「クレジットでお会計ですね。お支払い金額を確認し、クレジットを読ませてください」。クレジットを入れ会計が終わると「カードを取り出してください。レシートをお受け取りください。ありがとうございました」。

問い合わせの電話をすると、「今、大変混み合っています。今しばらくお待ちいただくか、おかけ直してください」。

車に乗りカーナビボタンを押すと、「次の信号を右にお曲がりになり300m先に目的地はあ

ります」と優しい女性の声。

セルフレジの前に立つと、画面が現れると同時に女性の声で案内や値段の読み上げをしてくれる。

今では自動音声に慣れてしまい、その声に何の違和感も持たない。しかしその声は女性で、男性の声は聞いたことがない。まあそれは女性の声の方が優しく、柔らかく、抵抗なく耳に入ってくるからだろう。

成人男性の声の周波数は120Hz位。一方女性の場合200Hz位といわれている。その差が耳に聞こえやすいかどうかまだ解明されていないが、確かに女性の声の方がほっとして抵抗なく耳に入ってくる。

それは元々エレベーターガールやバスガイドなどの声の名残なのかもしれない。だから見方によっては性差別ととられかねない。だったら男の声も入れた方がいいのかもしれない。しかしまあそこまで目くじらを立てることもないだ

ろう。

それでは「男性」の自動音声はないのだろうか。ある。それは緊急性の高い時である。確かに男の声だとびっくりするというのはあるだろう。ちなみに火災報知設備に関しては煙や熱を感知し作動したときは「女声」、火災発生を知らせるときは「男声」と総務省消防庁告示で決まっている。

またこれも意外に知られていないことだが、東京メトロのホームでは上り（A線）は女性の声、下り（B線）は男性の声で案内しているそう。その理由は視覚障害者の方に行き先を分かりやすくするためである。本当に優しい配慮がしてあるのだ。

何気なく聞いている自動音声。そこには色々と工夫や思いやりが詰まっている。たまにはじっくりと聞いてみるのもおもしろいかもしれない。

## お知らせ

## カット、イラストの募集

日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101  
genko@miyazaki.med.or.jp

## 宮崎グルメ探訪

## No.16



## 小料理 秀 樹 (宮崎市)

宮崎市 宮崎市郡医師会病院健診センター おの え こう じ  
尾 上 耕 治

銀ムツ(メロ)の煮付けを食べたことがありますか? 私は銀ダラや黒ムツとか似たような魚があり、同じような魚と思いついでおり、特に区別をしていませんでした。銀ムツの煮付けを食べたときに、あまりのおいしさに感激しました。この味はみんなに伝えないといけないと思ひ、今回グルメ探訪に寄稿しました。

この料理をいただいたお店、秀樹さんは2024年2月1日にみやざき魚菜・志ほから独立した小料理店です。宮崎市中心通8番23号愛甲ビル1階にあり、カウンター8席、4名用個室2部屋あります。ご主人はニコニコとして優しい感じです。奥様は、さっぱりとした感じで、また愛嬌のいい方です。最近、家内と2人でよく通わせていただくようになりました。よく注文するのは、その日に食べたい刺身、アナゴの白焼き、佐土原ナスの焼き、秀樹特製おにぎりおよび鉄火巻などです。費用は2人で大体、9千円~1万4千円程です。

さて、この日はいつものごとく、マグロの刺身とアナゴの白焼きを頼みました。その間、生

ビールとフリージングハイボールおよび日本酒を飲みました。「うんうん、やっぱり美味しいなあ」と思いつつ、次は鯛の煮付けを頼もうとしたら、本日はないとのことでした。今日は鯛の煮付けを食べようと前もって話をしていたので、非常に残念でした。本日の煮付けとして、キンキか銀ムツを勧められました。キンキは少々高いし、銀ムツは銀ダラの西京焼きに近いものと思って迷いましたが、結局銀ムツの煮付けをお願いしました。これが大正解でした。食べた瞬間、革命的なものを感じました。大きな声で、「これは、うまい。ほろっと身がほどけて、旨味がきて、そしてしっかりとした歯ごたえを感じます。こんなおいしいものは食べたことがない」と非常に興奮しました。私たちだけでなく、世の中に広げないといけないという思いが強くなり、ご夫妻に了承を得て、本投稿となりました。

「せっかく宮崎にいるっちゃから、秀樹の銀ムツの煮付けを食べに行かんとー」



ご主人とメニュー



銀ムツの煮付け

## 「はまゆう随筆」原稿募集

夏の恒例となりました7, 8月号の「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評いただいております。

**題 材** 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談義, 詩, 短歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラストなども掲載できます。

**字 数** 800字程度 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

**締 切** 令和8年6月19日(金)

- ◎ 原稿に「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は, 会員以外 (マスコミ・行政・図書館など) にも配布しています。

### 留意事項

- ◎ 著作権をはじめ, 法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ◎ 誹謗中傷や差別など, 他の団体, 個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ◎ 布教や政治活動など, 特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ◎ 公序良俗に反し, 法律で禁止されている行為など, その他不適切と判断されるもの
- ◎ 事実誤認, 難解, 過度な宣伝広告など

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便など) でお送りいただいても構いません。

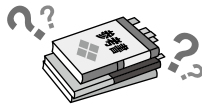
原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118



## あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は35ページ)

- 感染症法に基づき就業制限の通知をできるのはどれか。
  - 産業医
  - 事業者
  - 主治医
  - 感染症専門医
  - 都道府県知事
- Bell麻痺の症状で誤っているのはどれか。
  - 口角の下垂
  - 前頭筋の麻痺
  - 聴覚過敏
  - 複視
  - 味覚障害
- 自己抗体と臓器障害の組合せで正しいのはどれか。
  - 抗MDA5抗体 ————— 間質性腎炎
  - 抗Mi-2抗体 ————— 蝶形紅斑
  - 抗SS-A抗体 ————— 皮膚硬化
  - 抗TIF1- $\gamma$ 抗体 ————— 硬化性胆管炎
  - 抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体(抗ARS抗体) ————— 間質性肺炎
- B細胞の活性化に直接関与する細胞はどれか。
  - NK細胞
  - ヘルパーT細胞
  - マクロファージ
  - 制御性T細胞〈Treg〉
  - 細胞傷害性T細胞〈CTL〉
- 早朝空腹時の主な血糖調節機構はどれか。
  - 肝臓でのブドウ糖放出
  - 腎臓でのブドウ糖再吸収
  - 脳でのブドウ糖取り込み
  - 骨格筋でのブドウ糖取り込み
  - 副腎での糖質ステロイド合成
- 出血症状と疾患の組合せで誤っているのはどれか。
  - 鼻出血 ————— von Willebrand病
  - 過多月経 ————— ヘパリン起因性血小板減少症
  - 歯肉出血 ————— 急性前骨髄球性白血病
  - 点状出血 ————— 免疫性血小板減少症
  - 関節内出血 ————— 血友病
- 32歳の女性。甲状腺の検査を希望して来院した。5か月前に第2子を出産した。妊娠前に受けた検査で抗甲状腺ペルオキシダーゼ〈TPO〉抗体強陽性であったため、妊娠期間中にも定期的に甲状腺ホルモン検査を受けていたが、これまでに甲状腺機能の異常を指摘されたことはなく自覚症状もない。体温36.7°C。脈拍92/分、整。血圧126/86mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。びまん性のやや硬い甲状腺腫を触れるが圧痛はない。胸腹部に異常を認めない。尿所見：蛋白(−)、糖(±)、ケトン体(−)。血液所見：赤血球420万、Hb12.3g/dL、Ht 40%、白血球6,700、血小板21万。血液生化学所見：アルブミン4.0g/dL、AST13U/L、ALT15U/L、クレアチニン0.4mg/dL、TSH0.02  $\mu$ U/mL未満(基準0.4~4.0)、FT4 2.3ng/dL(基準0.8~1.8)。CRP0.1mg/dL。  
この時点での方針で正しいのはどれか。
  - 抗甲状腺薬を投与する。
  - 甲状腺全摘術を行う。
  - 無機ヨウ素を投与する。
  - グルココルチコイドを投与する。
  - 2~4週間後に甲状腺機能を再検査する。
- 医師のプロフェッショナリズムで誤っているのはどれか。
  - 科学的根拠を追究する。
  - 自己の利益を追求する。
  - 社会のニーズに応える。
  - 患者の感情に共感を示す。
  - 医療資源の有限性に配慮する。
- 症候と疾患の組合せで正しいのはどれか。
  - 嚥下障害 ————— 脾炎
  - 黄疸 ————— 腸閉塞
  - 吐血 ————— 潰瘍性大腸炎
  - 腹部膨隆 ————— 胃食道逆流症
  - 便秘異常 ————— 過敏性腸症候群
- 78歳の女性。左季肋部痛を主訴に来院した。6年前から脾臓原発の悪性リンパ腫に対して薬物による抗癌治療を継続しているが再発を繰り返しており、薬物による抗癌治療を行わない方針となった。1週間前から悪性リンパ腫による癌性疼痛に対してモルヒネの経口投与を開始したが疼痛が強くなり入院した。意識は清明。体温36.8°C。脈拍74/分、整。血圧132/78mmHg。呼吸数14/分。SpO<sub>2</sub>96% (room air)。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟。左季肋下に脾を4cm触知し、圧痛を認める。腹部CTで再発による脾臓の腫大を認めている。入院後、嚥下障害が出現し内服が困難となったためモルヒネ経口投与を中止し、モルヒネ皮下注射を開始した。  
注意すべき症状や徴候はどれか。2つ選べ。
  - 発熱
  - 便秘
  - 口内炎
  - 皮膚潰瘍
  - 呼吸数低下

# エコー・リレー

(609回)

(南から北へ北から南へ)

## 柴犬との暮らし

延岡市 のべおか中央クリニック 戸井田 玲 子



無趣味だった私ですが、戸建てに引っ越したのを機に柴犬(豆柴メス)「ちょこ」を飼い始めました。

今、振り返れば、初心者が買うには少々難易度の高い犬だったようです。

家に迎えてすぐ、新築の家は傷だらけになりました。何度も手を噛まれ、YouTubeやしつけ教室で勉強をしましたが、なかなか上手くいきませんでした。可愛い洋服や、シャワーも拒否。ドッグランでは他の犬と大喧嘩です。思い描いていた愛犬との暮らしとはあまりに違う現実に一時期は絶望していました。

ですが、1年が過ぎたころ、「まあ、仕方がない。」と思えるようになりました。

なぜなら、ちょこはそれ以上に心癒される可愛らしさに溢れていました。嬉しいときは口角を上げてニーっと笑います。散歩は大好きで、週末は車に乗って、遠くまで出かけるのが私たちの楽しみになりました。家族が帰ると、耳を横に倒し、尻尾をフリフリして全身で喜びを表し、その後は少し離れた場所から、静かに私たちを見守っています。大きな音は苦手で、ソファーの下に潜り込み、ブルブル震えてしまいます。息子にしつこくされると、歯を剥き出しにして「嫌!」を表現します。

柴犬は縄文時代から人と暮らしてきたといわれています。人とともに狩りを行い、亡くなった際には丁寧に埋葬されていたそうです。

1万年のときを経て、私たち家族の一員となったちょこ。気が付けば、その小さな存在が、日常の中心となり、日々の暮らしに彩りを添えてくれています。



[次回は、延岡市の野田 智穂先生にお願いします]

## 記念樹

宮崎市 ささきクリニック 佐々木 隆



5年前に外構のリフォームをした。その際に管理に手を焼いていた芝庭を半分にし、散在していた記念樹を一か所にまとめることにした。

我が家には5本の記念樹がある。まずは自宅を建て

た際にシンボルツリーとして玄関先に植えたシマトネリコで、春から初夏にかけ甘い香りのする小さな白い花が咲く。植栽してから1年足らずで台風で浸水したが、その後も優しく家族を見守ってくれている。残りは子どもたちの記念樹で、2月生まれの長女の梅、3月生まれの長男の侘助、7月生まれの次女の姫沙羅、4月生まれの次女の八重桜である。梅と侘助は2人が生まれたときに母が実家に植えたものを裏庭に移植し、人目につかず毎年ひっそりと花を咲かせていた。2度の移植、浸水に耐え、梅は毎年着実に薄桃色の柔和な花をゆっくりと咲かせ、沢山の実をつけ、梅酒までできる。侘助もしっかりと根を張り、春を待ちわびていたかのように紅桃色の力強い花を一気に咲かせ、潔く散っていく。姫沙羅は3本の細い幹から成るが、強風をいなしながらしっかりと立っている。しばらく花が咲かず心配したが、数年後から乳白色の凜とした花を沢山咲かせている。八重桜は隣接していた自転車小屋を撤去したところ、ここぞばかりに枝を伸ばし濃桃色の可憐な花を咲き誇らせている。狭い空間だが、春と秋には記念樹たちに囲まれた通路で家族や友人たちと花見や月見を楽しんでいる。

2月に初孫が生まれ、白梅を記念樹にしようかと妻と相談しているが、植える場所がない。今後も増えそうであり、いまだに持て余している芝庭をさらに縮小しようかと思案している。

[次回は、川南町の星野誠一郎先生にお願いします]

## メディアの目



## 病気を診ずして病人を診よ 高木兼寛の遺訓

共同通信社 宮崎支局長

みつ の りゅうたろう  
満 野 龍太郎

「病気を診ずして病人を診よ」。宮崎市高岡町が生んだ、きっかけの原因究明で有名な医師高木兼寛（1849-1920）の遺訓は現代の医学だけではなく、さまざまな分野で生かせる指針になっている。地元の「高木兼寛顕彰会」は功績を世に伝えようと、高木が創設した東京慈恵会医科大学（創設時、成医会講習所）、慈恵看護専門学校、宮崎大学の学生を毎年招き、ゆかりの地を歩いている。

高木の出身校となっている穆佐（むかさ）小（宮崎市）や高木家の墓前で、顕彰会から高木の苦学の略歴を教示された宮崎大、宮本貴由樹さんは「大学では病気そのものの勉強が多いが、郷土の偉人の言葉を大事にしたい」と思いを新たにされた様子だ。

宮本さんは幼少期に体が弱かった。子どもが病状を説明するのは難しい。子どもの話をよく聞いて、様子をしっかり見る小児科医を目指すという。

慈恵医大の野間葵さんは「交流サイト（SNS）やコンプライアンス（法令順守）といった問題が最近が多いが、高木先生の言葉は現代の社会にもつながると感じた」と話した。

鹿児島や英国で医学を学んだ海軍軍医高木は、軍艦の乗組員にきっかけ患者が多いことに注

目。当時は細菌による感染と考えられていたが、食事の栄養管理に問題があると考えた。白米に偏った食事から、肉などのタンパク質を加えた食事に改善すると、きっかけの報告が減った。この功績は後にビタミンB<sub>1</sub>の発見につながる。

宮崎市高岡総合支所にある資料室では、改善前と後の食事模型が展示されている。改善食のお膳には肉、卵、豆、牛乳が並び、現在の給食に近い。野間さんは大学病院の栄養部から患者の体調に合わせたメニューづくりを教えてもらったそうだ。

最近では血液検査や画像を見続けて、患者に視線を向けない医師が多いような気がする。自分ではじんましんで病院に行った際、皮膚の具合を診察しない内科医に出くわした経験がある。

データサイエンスがもてはやされ、その重要性も理解できる。ただ、健康に関わる情報を扱う医師には、人と対話するコミュニケーション能力が強く求められるのではないかな。

高木は、郷土宮崎を愛し、神社や学校に寄付を重ねたそうだ。親戚の間では、地元の鮎が好物だったことや、勉強が得意だったことなどが伝えられている。医療界は、音読みで「けんかん先生」と親しみを持って語られる高木兼寛の思いを引き継いでいただきたい。

## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第57回 精神不調で休職する職員対応

**Q.**

当院で入職してからまもなく精神的不調を訴えて休職をしている職員がいます。心療内科医より「適応障害」との診断書が提出されたので休職しながら傷病手当金を受給しています。この状態が長期化する場合、新たな職員の雇用も考えなければならず、対応に苦慮しています。どのように対応していくべきでしょうか？

まず、医療機関において、メンタル不調を訴える職員は非常に増加しており、近時ますます重要な課題となっています。特に看護師や医師は業務負担が大きく、精神的不調を理由とする休職や復職の問題は日常的に生じ得ますが、対応を誤ると労働紛争や損害賠償請求に発展するリスクがあるため、法的観点と紛争予防の視点を踏まえた対応が不可欠です。

まず、職員から不調の申出があった場合、安全配慮義務の観点から業務軽減や配置転換の検討が必要です。この際重要なのは、「検討した経過を記録に残すこと」です。後に紛争となった場合、対応の有無だけでなく「どのように判断したか」が問われるため、面談記録や指示内容の書面化が極めて重要となります。

次に休職に関しては、就業規則の整備が前提となります。特に休職期間、復職基準、自然退職事由を明確にしておくことで、「運用の恣意性」を排除し、後の紛争リスクを大きく低減できます。規程が曖昧なまま個別判断で解雇を行うことは最も危険です。

復職場面では、試し出勤や短時間勤務など段階的復帰を採用し、経過を慎重に観察することが重要です。この際も、評価内容や判断理由を記録化しておくことで、後日の「復職可否判断の合理性」が担保されます。

さらに、長期の就労不能が続く場合、解雇を検討せざるを得ませんが、これは最も紛争化しやすい局面です。したがって、休職期間満了の事実、回復見込みの検討、代替措置の検討経過などを丁寧に積み上げ、「やむを得ない判断」であることを説明できる状態にしておく必要があります。

医療機関における労務対応は、結果以上に「プロセス」が重視されます。この「プロセス」は口頭でのやりとりでは足りず、その経過を書面に記録として残しておくことが何よりも重要です。したがって、事前のルール整備、判断過程の可視化、記録の蓄積という3点を徹底することが、休職職員との労働トラブルを回避する最も有効な手段といえるでしょう。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士

弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

**A.**

### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp)、FAX、郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

# 宮崎県感染症発生動向 ～3月～

令和8年3月2日～令和8年3月29日（第10週～第13週）

## ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核10例（男性4例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢はいずれも10歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢，血便，発熱がみられた。原因菌はO26（VT1，VT2）であった。

4類：○つつが虫病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，性別は男性であった。主な症状として頭痛，発熱，発疹がみられた。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は50歳代で，性別は男性であった。主な症状として発熱，刺し口，発疹，DIC，肝機能異常がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代であった。主な症状としてショック，軟部組織炎，中枢神経症状がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で病型はAIDSであった。AIDSの指標疾患はニューモシスティス肺炎で，主な症状として咳がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は10歳代で，主な症状として発熱，嘔吐，意識障害，項部硬直，髄膜炎，菌血症がみられた。

○梅毒5例（男性2例・女性3例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，鼠径部リンパ節腫脹等がみられた。

○播種性クリプトコックス症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代と90歳代で，主な症状として発熱，意識障害，痙攣，呼吸器症状，胸部異常陰影がみられた。

○百日咳9例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，スタックート，ウーブ，嘔吐等がみられた。ワクチン接種歴は有りが4例，不明が4例，無しが1例であった。

○麻疹1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，検査診断例であった。主な症状として発熱，発疹がみられた。海外渡航歴は無く，ワクチン接種歴は有った。

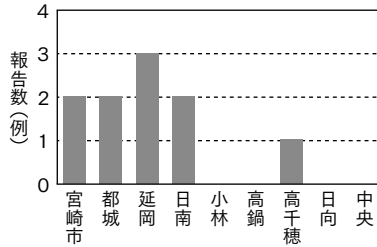


図1 結核 保健所別報告数(例)

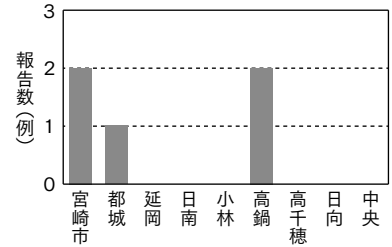


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

肺結核	7
肺結核及びその他の結核(髄膜炎)	1
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	1

表3 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	2
早期顕症梅毒Ⅱ期	1
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
60歳代	1
70歳代	2
80歳代	3
90歳代	2

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	4
50歳代	1

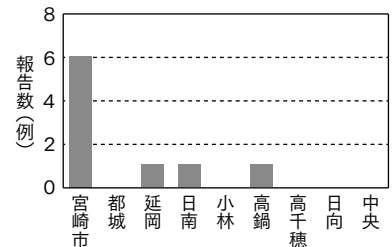


図3 百日咳 保健所別報告数

表5 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	1
10歳代	3
20歳代	2
40歳代	1
60歳代	1

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,949人（定点あたり103.7）で、前月の40%、例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の81%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は4,638人（定点あたり165.6）で、前月の約50%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び伝染性紅斑であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は196人（13.1）で前月の約0.9倍、例年の約1.4倍であった。日南（42.0）、高鍋（22.0）、都城（15.0）保健所からの報告が多く、2歳から4歳が全体の約3割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は564人（37.6）で前月の約0.9倍、例年の約1.0倍であった。小林（98.0）、日向（92.0）、日南（37.0）、中央（37.0）保健所からの報告が多く、1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

前月との比較

	2026年3月		2026年2月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	882	31.5	4,989	178.2	
新型コロナウイルス※1	49	1.8	133	4.8	
RSウイルス感染症	50	3.3	29	1.9	
咽頭結膜熱	75	5.0	106	7.1	★
溶レン菌咽頭炎※2	196	13.1	211	14.1	★
感染性胃腸炎	564	37.6	634	42.3	
水痘	37	2.5	25	1.7	★
手足口病	18	1.2	7	0.5	
伝染性紅斑	24	1.6	39	2.6	★
突発性発しん	26	1.7	25	1.7	
ヘルパンギーナ	0	0.0	1	0.1	
流行性耳下腺炎	2	0.1	1	0.1	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	24	4.0	28	4.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	1	0.1	4	0.6	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	2	0.3	
急性呼吸器感染症	4,638	165.6	9,244	330.1	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### ■病原体検出情報（微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

○急性呼吸器感染症（ARI）※<sup>1</sup>サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	1
	B型	ビクトリア系統	19
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		1
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		2
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			6
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			1
検出せず※ <sup>2</sup>			22
受付検体数			54

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

		検出病原体	件
細菌		EHEC (O157:H7,VT2)	1
		EPEC (O157:HUT)	1
		<i>Desulfovibrio falkowii</i>	1
		<i>Bordetella pertussis</i>	1
		Rotavirus A G8	1
ウイルス		Influenza virus A H3	2
		Influenza virus B (Victoria Lineage)	32

## ■月報告対象疾患の発生動向〈2026年3月〉

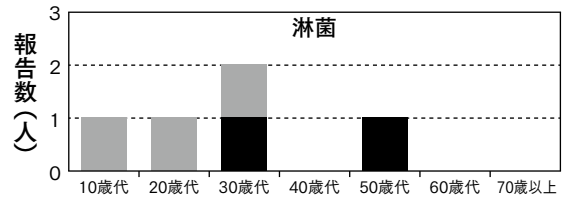
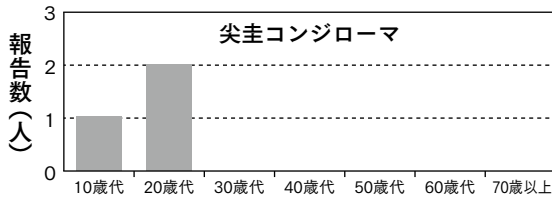
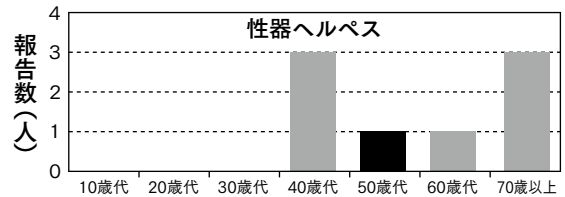
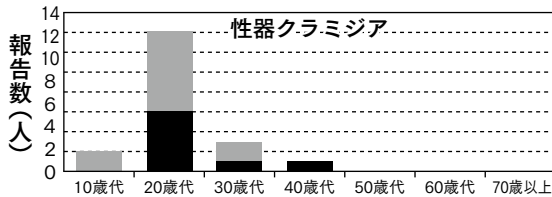
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比148%と増加した。また、昨年3月（2.5）の約1.0倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人（1.4）で、前月の約1.1倍、昨年3月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性8人・女性10人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人（0.62）で、前月の約2.0倍、昨年3月と同率であった。（男性1人・女性7人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、昨年3月の約3.0倍であった。（女性3人、前月報告なし）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月及び昨年3月の約1.7倍であった。（男性2人・女性3人）



■男 ■女

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で、前月比117%と増加した。また、昨年3月（1.7）の約1.8倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人（3.0）で、前月の約1.2倍、昨年3月の約1.8倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

## 日赤だより

### 【日本赤十字社宮崎県支部】

# 赤十字の講習は今年で100周年 皆さまのご支援で支えられています。



## 1 過去の教訓

いざという場面で、正しい知識を身に付け、落ち着いて適切な行動を取れるかどうか、その後の状況を大きく左右することを、日本赤十字社はこれまでのさまざまな経験を通じて学んできました。

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、これまで国内で繰り返し発生してきた災害では、日本赤十字社の救護班が被災地に赴き、厳しい環境の中で救護活動にあたってきました。そうした現場での体験を重ねる中で、日頃からの備えが、いざという時に人の命や暮らしを守る力になることを痛感しています。

## 2 「自助」・「共助」の重要性

近年、地震や豪雨、台風などの自然災害は、世界的に激甚化・頻発化しており、もはや災害は「特別な出来事」ではなく、私たちの生活のすぐそばにある日常的な危機として迫っています。

このような時代だからこそ、「公助」のみならず、一人ひとりが自らの命と生活を守るための方法を正しく知り、いざというときに行動できる力を養う「自助」の実践が不可欠です。同時に、地域や職場、家庭の中で互いに声を掛け合い、助け合い、支え合う「共助」の力を高めていくことが、被害の拡大を防ぎ、命をつなぐ大きな力となります。

## 3 赤十字の取組み

日本赤十字社が取り組む救急法講習をはじめとした講習事業は、今年で100周年を迎え、「自助」・「共助」の力を社会全体に広げる重要な役割を担っています。応急手当や心肺蘇生法といった実践的な救急法の普及に加え、防災教育、防災・減災への継続的な取組みは、いのちを守るための大切な基盤であり、次世代へとつなぐべき社会的使命であると考えています。

そして、災害時の救護活動や、平時における救急法講習など、日本赤十字社の幅広い活動は、皆さま一人ひとりのあたたかい善意とご支援によって支えられています。被災地への義援金・救援金はもとより、赤十字活動資金へのご寄付を通じて託していただいた皆さまの想いは、日本赤十字社の災害救護や防災・減災の取組みへと確実につながり、いつか誰かの命を救い、希望をつなぐ力となっています。

### 【宮崎県赤十字血液センター】

本年4月にシステム更新を行いました。まだ、小さなトラブルはあると思いますが、大きな障害はなく稼働しております。

皆様のご協力により、業務が継続できておりますことを感謝いたします。

日本赤十字社宮崎県支部 総務課

TEL：0985-22-4045 メール：miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp

## 各郡市医師会だより

### 西都市西児湯医師会

令和8年4月より、宮崎大学病院・西都市・西都市西児湯医師会の協力のもと、西都児湯医療センターの医療提供体制が大きく変わろうとしている。3月31日時点で詳細は明示されていないが、多くの医師が勤務いただくこととなった。これは西都児湯の住民にとって朗報である。

一方、全国の医療機関が現在直面している物価高や人件費・資材高騰、人手不足は、解消の目途が立っていない。結果として多くの医療機関の閉院、病床削減、医師派遣中止がニュースを賑わせており、宮崎県も例外ではない。さらに国の医療DX推進による設備投資やランニングコスト増に対応しなければならず、多くの経営者は頭を抱えている状況と推察される。こうした状況の中、従来の地域医療構想調整会議に2027年から介護分野が加わることになる。今後の地域医療を維持していくためには、医療機関同士の情報共有が必須であり機能の集約化も求められる。ビッグデータによる精緻な分析を基に、地域に必要な病床数、診療科、医師数を考えなければならないが、データと現実の医療提供の間には、乖離があることを理解しなければならない。

そのため今後はすべての地域で、「各々の二次医療圏内に必要な医療は何か？」という点について、医師会主導のもと「自治体と全医療機関参加型」の議論を行うことが肝要と思われる。既存の医療機関を有効に活用し、競合するような新規設備投資は避け、地域に見合った医療提供体制を構築することが、結果的に人口減少にともなう医療需要の変化に対応し、正常な供給が行われるものとする。

(大塚康二郎)

### 宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会で、救急医療や成人・介護保健担当、当会病院では診療副部長を拝命しています。宮崎市は、保健医療福祉調整本部が立ち上がった際に各職種で活動できるよう計画を進めています。救急告示医療機関連絡協議会で、今後の救急医療現場の人員不足に対応すべく、協議を行っています。各種がん検診について、行政と検討しましたが、削減項目もあり当医師会としての主張を行いました。当会病院は、人件費・材料費の高騰のため経営的に苦戦中ですが、今回の診療報酬改定に期待をしています。

(増田 好成)

### 都城市北諸県郡医師会

現在医療DXが進む中、これからは現場の医師が主体的に関わることが重要であると考えます。例えば現在デジタル化が進行中の定期予防接種の問診票や電子カルテ情報共有サービスなどシステムの連携や操作性（UI）が診療効率を大きく左右します。新しい仕組みに単に反対するのではなく、実運用時に現場が困らないよう医師自らが医療側の意見を発信し、改善に参加すべきであると思います。現在の紙運用の課題もふまえ、複数問診の一括承認など、現場に即した仕組みを医師会として強く提案していくことが必要です。

(隅専浩)

## 延岡市医師会

新型コロナが5類に移行したのが令和5年5月、早3年が経過しました。このウイルスが日本に上陸しテレビでは防護服での診察風景や罹患した方の呼吸困難の姿、多数の死者、その後は飲み屋街の営業禁止、行事の自粛、県外ナンバーの車に「宮崎在住です」のシール、いろいろな場面が思い出されます。中島みゆきさんの『時代』に、“そんな時代もあったねと つかきと話せるわ”とあります。絶対に今我慢したらこの曲のように平穏な毎日が来ると信じていました。新型コロナウイルス対策の教訓は今後の感染症対策に生かされますが、自然災害対策には運もありますね。やはり『賢明な判断』が一番かなと思います。余談ですが、人間の目的は長く生きること、だから海馬や扁桃体はヒヤリハットした出来事を優先的に残します。嫌な経験ばかり思い出すのはそのためですがとても意味があるものなのです。

(宝珠山厚生)

## 日向市東臼杵郡医師会

現在、日本全体が元気がなく経済的にも厳しい状況です。医療は国民の生活の中にあり、国民が困窮していれば当然医療業界も困窮します。当医師会も赤字経営が続いておりいろいろ策を練っても効果が乏しい状況です。根本的には国民の生活が裕福になれば国も保険点数を高く設定しやすくなり医療業界もその恩恵を受けられると思います。これまでの国会議員は自分ファーストが多く誰がなっても同じと感じていました。しかし現在の高市内閣は能力も高く自己犠牲を恐れず日本国民のために懸命に頑張ってくれており日本が元気になることを期待しています。

(田代慎二郎)

## 児湯医師会

児湯医師会立の准看護学校では、先日無事16名の卒業生を送り出すことができ、今年も14名の入学予定者を迎える予定です。近年学生数の確保は厳しく、県内の他の看護学校も同様の状況と聞いています。さまざまな広報活動を駆使しながら学生募集を行っていただいているものの、例年定員に満たない状態が続いています。医療機関においては、診療報酬改定の内容も気になりますが、まずは人員確保が先決であり、医療・介護分野での仕事の魅力を今後も発信し続けることが大事だと思います。

(宮尾 雄治)

## 南那珂医師会

日南・串間初期夜間急病センターの現状を報告します。平日は内科、休日は内科と小児科を19時から22時まで診療しており平均1名から2名の受診があります。21時を過ぎてからはほとんど患者さんが来ない日が多く、来年度からは21時までにはできないか、平日を休診にできないかを日南市、串間市と相談することになっています。インフルエンザ、コロナなどの検査は一切行っていませんが、住民への周知も進み、特に問題になっていません。ただ、県立日南病院の負担が増していないか気にはなっています。

(津曲 俊郎)

## 西諸医師会

地域医療は人口減少と高齢化で需要が変化し、救急・周産期・感染症・災害医療など途切れさせられない医療を担う一方で、医師不足や採算悪化、施設老朽化など深刻な課題を抱えています。こうした中、西諸医師会は内村会長を中心に行政・病院・診療所と連携し、病床機能の適正配置や役割分担、地域包括ケアを支える体制整備を進めています。公的病院の存続は地域の安心を守る基盤であり、持続可能な医療提供体制を次世代へ継承するため、今後も関係機関と協働し続けていきたいと考えています。

(竹之内 剛)

## 国公立病院だより

### 宮崎県立こども療育センター



かわの あきひろ  
川野 彰裕 所長

#### はじめに

令和3年5月以来5年ぶりの“国公立病院だより”となります。

この数年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との戦いを余儀なくされて

いました。令和5年5月から法律上の取扱いが5類相当へ緩和され、ようやく以前の生活状況に戻りつつありますが、いまだに医療機関ではマスクの着用が求められている状況です。

さて、当センターは昭和34年に肢体不自由児施設として開設され、昭和62年に福祉ゾーンの一部である現在地に新築移転しました（約40年が経過し施設の老朽化が気になります…）。45名定員の入所部門と5組の親子入所部門からなっており、就学児童の多くは隣接する清武せいりゅう支援学校に通学しながら、治療・リハビリテーションを受け入所生活を送っています。その他、短期入所・日中一時支援事業として1日8名のショートステイを受け入れています。平成24年から児童福祉法の一部改正により「肢体不自由児施設」から「医療型障害児入所施設」に移行し、多様な障がいに対してその役割を果たしていくことが求められるようになりました。また在宅支援として地域の障がい児（者）やその家族の相談に応え、障がい児を預かる県内の施設への支援強化も図ってまいりました。令和3年6月に施行された「医療的ケア児支援法」にともない、令和4年7月に「医療的ケア児支援センター」を当センター内に開設

いたしました。開設後3年が経過し、蓄積されたデータの解析、県内の状況の把握を行い、さまざまな課題を解決へつなげられるように関係機関と連携を強化・構築したいと考えています。

#### 診 療

医師は整形外科専門医3名が常勤で、小児科医は宮崎大学小児科医局のご協力のもと非常勤医を派遣していただいております。また、複数の疾患を抱える児童が多いため、宮崎大学より、歯科口腔外科、泌尿器科、眼科、麻酔科（手術のとき）の非常勤医師派遣をいただいております。医師不足が問題になる昨今、定期的な派遣に関しては大変感謝しているところです。

私を含めた常勤の整形外科医は日本整形外科学会専門医と同時に、宮崎では数少ない日本小児整形外科学会認定医でもあり、先天異常や小児特有の筋骨格系の疾患に対して、県全体あるいは隣接する県外地域を網羅し、専門的な治療を継続、強化しています。主な対象疾患は、小児整形外科では乳幼児股関節脱臼、先天性内反足、斜頸、ペルテス病、脚異常など、神経・筋疾患では、脳性麻痺、二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、骨系統疾患では、骨形成不全、多発性関節拘縮症、軟骨無形成症などに対して専門的な治療やリハビリテーションを行っております。このような骨関節、神経・筋疾患は長期にわたる治療が必要であることが多く、隣接する清武せいりゅう支援学校に通学しながら、入所や通院によって整形外科的、小児科的治療やリハビリテーション、生活指導を行い、治療やその障がいの除去・軽減を図っています。

また、小児発達外来では令和5年度から新たな取り組みを開始しました。厚生労働省の事業であるかかりつけ医等発達障害対応力向上研修を受講し氏名公表に同意した県内医師から、専用

の紹介票を用いて初診を受け付ける紹介制度の試験的实施です。かかりつけの先生方のご協力をいただきながら、発達面の診断および支援拡充を急ぐ児童の対応を優先して行っております。小児科は非常勤であり入所児の診療もあるため十分な外来枠の確保が難しい中ではありますが、県内の実情に合わせて持続可能な形を模索しながら継続する方針です。

### 医療的ケア児支援センターの取組み

医ケアセンターでは、医療的ケア児のご家族の相談の他、市町村を含む支援側からの提案や相談（電話、来所、メールなど）をワンストップで受け止め、都度、関係機関と連携しながら対応します。また、直接各地の協議の場や研修会に伺うこともあります。これらの活動（①相談窓口の設置 ②人材育成 ③地域づくり）は医療・教育・福祉分野などの多角的な視点が大変重要であることから、開設当初より県委嘱の医療的ケア児支援アドバイザーの専門的助言に支えられています。医ケアセンターは、県直営の

中立的立場、また小児整形外科病院さらに医療型短期入所施設の機能を活かす活動を今後も続けていきます。令和8年4月から専任者が2名増員され3名体制となり機能充実が期待されます。

### おわりに

あつという間に医師として30年が経過してしまいました。中学高校と陸上競技に没頭していたため、スポーツ医になるために整形外科に入局しました。しかし、専門医取得以降、小児整形外科分野の奥深さと大切さを学び、生涯の専門領域となりました。平成21年に当センター赴任後は、障がい児に対する“療育”という分野の重要性と特異性を感じ、微力ながら仕事に取り組んでいるところです。引き続き小児骨関節疾患への診療に取り組み、障がいを持った子どもたちへ寄り添った療育を行うよう、センタースタッフとともに努力してまいりたいと思います。医師会の先生方におかれましても、障がい児療育、医療へのご理解とご協力ならびに引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。



## 宮崎大学医学部だより

### 内科学講座 - 循環器・腎臓内科学分野 -



かいきた こういち  
海北 幸一 教授

令和3年5月に私が宮崎大学医学部内科学講座 循環器・腎臓内科学分野の教授を拝命してから、早いもので5年が経過いたしました。かつての旧第一内科から消化器内科が独立し、現

在の講座体制となってからも、同門の先生方の多大なるご支援により、当科は着実に前進しております。今回は、現時点の当科の取組みと、今後の展望についてお伝えいたします。

当分野では「宮崎地区における循環器腎臓内科領域の治療困難な患者様の最後の砦」として機能することを目指し、最先端医療の導入を積極的に進めてまいりました。循環器領域では、救急隊からの心電図伝送システムの稼働により、循環器救急疾患の受け入れ件数は倍増し、冠動脈インターベンションやカテーテルアブレーション件数に関しても、国立大学病院の中での順位が上がってきました。特に構造的な心疾患の分野では、心臓血管外科との連携による低侵襲治療が大きな柱となり、経カテーテル的大動脈弁留置術、重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術や、心房中隔欠損閉鎖術、左心耳閉鎖術など、高度な専門性を要する治療体制が確立しました。また、ハートセンター所属の生理検査技師による心エコー検査体制の強化により、迅速かつ正確な診断が可能となりました。一方、令和6年度の厚生労働省のモデル事業に採択された、「脳卒中・心臓病

等総合支援センター」が宮崎大学医学部附属病院内に設置され、現在では宮崎県の委託事業として、地域全体の包括的支援体制の中核を担っています。

腎臓内科領域においても、急性腎障害外来の全日開設や、Shared Decision Making (共同意思決定) を重視した「腎代替療法選択外来」の設置など、患者本位の医療を推進しております。大学病院としての責務である血液浄化療法は、アフェレシス治療を含め右肩上がりに増加しており、他診療科からの複雑な合併症症例にも対応しております。また、地域の基幹病院への医師派遣を通して腎臓内科診療の均てん化にも注力しております。

研究面では、文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業(タイプB)」に採択され、私がプロジェクトリーダーを務める「基礎・臨床連携循環器研究推進ユニット」が3年目を迎えました。この事業を通じて、各種循環器疾患における血栓形成能の動態と病態評価、およびINOCA\*<sup>1</sup>(非閉塞性冠動脈疾患による心筋虚血)の病態解明等のテーマで、国際水準の臨床研究を推進していきたいと考えております。

働き方改革という大きな転換期において、タスクシェア・タスクシフトを推進し、医局員が生き生きと診療・研究・教育に邁進できる環境作りは、講座運営の最重要課題です。昨年、当科の同門会報にも記載しました「四耐四不(したいしふ)」の精神、すなわち困難を乗り越え、激せず冷静に歩む姿勢を忘れず、同門の先生方とともに宮崎の医療へ貢献していきたいと思っております。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

\*<sup>1</sup> Ischemia with Non-Obstructive Coronary Arteries

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(皮膚科医会)



にしだ たかあき  
西田 隆昭 会長

宮崎県皮膚科医会会長の西田です、他科の先生方にはいつもお世話になっております。この紙面をお借りしましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

皮膚科医会としては今まで通りに活動しています。

「宮崎県皮膚科懇話会」と称した全県下の皮膚科医師を対象とした勉強会を3回行いました。今年2月は宮崎大学皮膚科教授に新しく就任された緒方大先生に「これまでとこれから：宮崎における皮膚科医療の展望」と題し講演を行っていただきました。宮崎県の皮膚科医療をよいものにしたいという気持ちが伝わってきて、改めて医会としても努力・協力していかないといけないと思いました。また「皮膚科だより」という会誌を年に2回作っており、今年1月に114号を発行しました。

「皮膚の日」に合わせてポスター作成、皮膚の日講演会を行っています。昨年は「溶連菌感染症－特徴的な皮膚病変を見逃さない－」と題し36枚目のポスターを作成しました。皮膚の日講演会は毎年出盛允啓先生に講師をお願いしています。昨年も会場とWebでのハイブリッド形式で行い、「食物繊維と腸内細菌」と題して行い、例年通りの大盛況でした。

1997年に始まった带状疱疹の患者数集計、通称「宮崎スタディ」は現在も継続中で、ほぼ全県下の皮膚科医の協力で成り立っています。他科の先生も带状疱疹を診られますので完全な全数把握というわけにはいきませんが、時間、規模ともに資料価値として高く評価されており、国内外のいろいろな場面で研究、臨床に役立っています、今後も継続予定です。

以上が主な活動になります。どれも長く続いておりますが、時代背景や構成会員などの変化から、ある程度活動内容を考える時期が来てい

ると実感します。

ここ数年で県内では開業医に関しては閉院5件、新規開業3件と動きがありました。開業医がもともと少ないうえにさらに減ったこと、さらに県内での偏り、高齢化、後継者不在、スタッフ不足、また診療報酬改定、デジタル推進とさまざま問題があります。また昨年から宮崎市郡の休日在宅当番制度で77歳以上の希望者には当番を免除するという体制の見直しを行いました。現在15施設でまわしているのですが、数年後には有資格者が数人いて、休日在宅当番もいつまで続けられるかは分かりません。いろいろと暗い話題も多いのですが、県民の皆さんにより医療が提供できるように頑張りますので、皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

**溶連菌感染症**  
—特徴的な皮膚病変を見逃さない—

小児に咽頭炎を引き起こす溶連菌（溶血性連鎖球菌）を、皮膚症状から早期に見つけることがあります。感染後に無球体肺炎、リフマ熱などの合併症を発生することがあるため、早期の診断と治療が必要です。重症には、とびひ、丹毒、蜂窩織炎などの様々な感染症が生じます。重症型溶連菌感染症は急速に進行し、死にすることもあります。下記のような症状があれば早めに皮膚科専門医を要診しましょう。

**咽頭炎に関連した皮膚・粘膜症状**

- のどの症状：咽頭炎
- ざらざらした皮膚・粘膜：鼻に膿痂が付着してきたら、溶連菌感染の可能性が高まります。
- その他の皮膚病変：猩紅熱、結核疹、結核疹、結核疹、結核疹

**皮膚の浅い感染**

- 腫れた赤い腫瘍：乳幼児の顔面や口周りに起こる。
- かき傷：顔面・腕・手足に起こる。
- とびひ：乳幼児から小児に起こる。
- 丹毒：手足に起こる。
- アトピー性皮膚炎の悪化：アトピー性皮膚炎の悪化。

**皮膚の深い感染**

- 丹毒：顔面に起こる。
- 蜂窩織炎：顔面に起こる。
- 重症型溶連菌感染症：顔面に起こる。
- 結核性外傷から顔面に感染が蔓延し、死に至ることがあります。「人狼パロリア」として知られています。

**診断と治療**

咽頭—細菌培養検査、血液検査や、迅速検査キットで診断します。  
 追加：ペニシリンなどの抗生剤が有効です。

**感染・感染後の合併症はこわいです！** 早期発見、適切な治療が重要です。

11月12日は皮膚の日です

宮崎県皮膚科医会・日臨皮膚病学会支部 編 - 36 - 2025年(令和7年)

令和7年「皮膚の日」ポスター

## － 各種委員会 －

### 宮崎県医師会医学会役員会

と き 令和8年3月16日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本常任理事の司会により開会。河野学会長の挨拶に続き、報告、協議が行われた。

#### 1 報 告

##### 1) 令和7年度宮崎県医師会医学会について

令和7年9月6日(土)に県医師会館 (Web併用) にて特別講演2題で開催した。

1題目は「重粒子線がん治療の現状と今後の展開」と題し、九州国際重粒子線がん治療センター センター長の塩山善之先生に、2題目は「かかりつけ医機能報告制度について」と題し、日本医師会 常任理事の城守国斗先生にご講演いただいた。総出席者は77名で、現地18名、Web59名であった。

#### 2 協 議

##### 1) 令和8年度宮崎県医師会医学会の開催について

令和8年9月5日(土)に県医師会館で開催する医学会の講演テーマについて協議した。

各専門分科医会推薦の幹事から多数の案が出されたが、検討の結果、1題目は、iPS細胞を使用した再生医療製品の製造販売が承認されたことをふまえ「iPS細胞を用いて作成された心筋細胞シート」関連の講演に決まった。



もう1題目は、本年6月に施行される令和8年度診療報酬改定について、2040年を見据えてどういった狙いがあるのか知りたいなどの意見から「診療報酬改定」とした。

また、講師との調整ができなかった場合は、次点として、情報システムを利用した災害医療・防災対策に関する講演とすることとした。

#### 出席者

県医師会館－河野学会長, 小牧・比嘉副学会長

光川・佐藤・北村・黒岩・

ト部・出水・坪井・杜若幹事

嶋本・市来・落合常任理事

Web (Zoom)－室井・中村・川越幹事,

峰松理事

(県医)－久永次長, 弓削主事

## 九州医師会連合会第427回常任委員会

と き 令和8年2月14日(土)

ところ グランドハイアット福岡

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶(福岡県蓮澤会長)

### 3 報 告

#### 1) 第125回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について(福岡)

##### (1) 参加者数について

九州各県から総会・医学会326名, 分科会1,110名, 記念行事528名の参加があり盛会であった旨の報告が行われた。

##### (2) 宣言・決議の取扱いについて

宣言・決議の実現に向け, 内閣総理大臣をはじめ政財界関係者252名に, 宣言・決議を送付した旨の報告が行われた。

#### 2) 第14回日本医師会赤ひげ大賞における受賞者に対する慶祝について(福岡)

赤ひげ功労賞の小野辰也先生(佐賀), 山下昌洋先生(熊本), 吉田史郎先生(大分), 森 明人先生(鹿児島)に祝電を送り祝意を表した旨の報告が行われた。

### 4 協 議

#### 1) 第161回日本医師会臨時代議員会及び九州ブロック日医代議員連絡会議(3月29日(日)日医)の開催について(福岡)

日医臨時代議員会の開会に先立ち, 九州ブロック控室で連絡会議を開催することが承認された。また議事運営委員会の報告を牧角寛郎代議員(鹿児島), 財務委員会の報告を小牧 斎代議員(宮崎)が行う予定となっている。

なお, 代表質問の選定は, 九医連会長の蓮澤会長(福岡)と副会長の牧角会長(鹿児島)に一任することとなった。

#### 2) 第428回常任委員会(4月11日(土)福岡市)の開催について(福岡)

九州ブロックから選出する次期の日医役員候補者などを検討するため福岡県医師会館で開催することが承認された。

#### 3) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議及び九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会(5月23日(土)福岡市)の開催について(福岡)

九州ブロックから選出する次期の日医役員候補者などを協議するためグランドハイアット福岡で開催することが承認された。

員候補者などを協議するためグランドハイアット福岡で開催することが承認された。

#### 4) 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(5月23日(土)福岡市)の開催について(福岡)

事前に九州各県医師会に照会の結果, 日医委員会の報告として, 病院委員会は牧角寛郎先生(鹿児島), 地域医療対策委員会は田名 毅先生(沖縄)にお願いすることが承認された。

#### 5) 日本医師会選挙管理委員会委員及び予備選挙管理委員の選出について(福岡)

慣例により鹿児島県, 佐賀県から推薦することが承認された。

#### 6) 日本災害医学会「令和7年度災害医療コーディネーションサポートチーム研修」の受講者募集について(福岡)

3月22日(日)に新潟市で開催される研修会で, 現在, 九州各県医師会に照会中のため, 出席者などの選定は九医連会長の蓮澤会長(福岡)と副会長の牧角会長(鹿児島)に一任することとなった。

#### 7) 「九州ブロック学校保健・学校医大会」に対する補助金の増額について(鹿児島)

九州各県持ち回りで開催されている大会について, 物価高騰などの影響により開催県の負担が大きいことから開催地に対する補助金を150万円から250万円に増額することが承認された。

### 5 その他

#### 1) 九州各県保健医療福祉主管部長及び九州各県医師会長合同会議(7月17日(金)那覇市)の開催について(沖縄)

九州各県持ち回りにより, 担当は医師会と行政交互に開催されている会議で, 7月17日(金)に那覇市内で開かれることが承認された。

#### 2) 医療法人の事業継承及びM&Aの事例について(鹿児島)

九州各県で悪質な事例がないか情報交換が行われた。

出席者 - 河野会長, 竹崎事務局長

## 九州医師会連合会第2回勤務医連絡協議会（勤務医交流会）

と き 令和8年2月14日(土)

ところ グランドハイアット福岡

本協議会はグループワーク方式で行われ、1グループにつき7～8名の合計4グループで、各県からあらかじめ選出されたファシリテーター、管理者・部長、中堅医師・指導医、専攻医・研修医、医学生でメンバー構成がなされた。本県からは、「管理者・部長」枠として大塚常任理事、「専攻医・研修医」枠として都城市郡医師会病院循環器内科専攻医の河野真菜先生が参加した。

まずはじめに、戸次常任理事（福岡県医）の司会により開会し、蓮澤会長（福岡県医）の挨拶後、一宮副会長（福岡県医・日医勤務医委員会委員長）が統括ファシリテーターに選出された。その後、一宮副会長から、本協議会の趣旨は「若手医師を含む勤務医が、日々の診療の中で抱える課題や疑問を共有し、世代や立場を超えて自由かつ建設的な意見交換を行い、医師会活動に参画してもらうきっかけとなること。現場の視点からの意見集約を図ることで、医療政策への関心を深め、今後の医師会活動に反映すること」という説明があった。

### グループワーク・発表

4グループを2つに分け、「勤務医の医師会活動への参画～勤務医が望む医師会活動とは？」「働き方改革は君たちにとってどうなの？～若手医師の本音～」をテーマに、各グループで55分間の討論が行われた。その後、各グループの代表者による討論内容の発表があった。



「勤務医の医師会活動への参画」に関する発表では、若手医師から当初、医師会の具体的な活動が見えない、メリットがない、開業医のための団体と思っていた、などの否定的な意見が出たが、中堅以上の医師とディスカッションする中で、医師会が診療報酬引き上げに尽力することで自分たちの待遇が上がったり、行政と医療現場の橋渡しをすることで地域医療がよくなったりすることなどを納得することができ、医師会活動への理解が深まったとの意見が出された。

「働き方改革は君たちにとってどうなの？」に関する発表では、医師の働き方改革が進む中、若手医師としては休みをきちんと取りたい一方で経験もしっかり積みたい気持ちがあること、自分たちが早く帰ることで上級医がフォローしていることへの葛藤、自己研鑽と時間外勤務の線引き、指導医が不足し十分な教育が受けにくい、面接指導に時間が取られるなど、さまざまな課題が挙げられた。これらに対しては、タスクシフトの推進、当直の集約化、チーム医療の導入、指導医と研修医のコミュニケー

ション強化，などが解決策として示され，全員が無理なく働ける環境づくりが重要であるとまとめられた。

#### 総 括 福岡県医師会 副会長 一宮 仁

いかに勤務医や若い先生方に医師会活動を正しく理解してもらうかが重要であるということが分かった。SNSなどで情報発信したからすぐに反響があるということではなく，若い先生方の意見を取り入れた内容の検討も必要である。また，管理者の先生方こそ医師会活動に参画し医師会の重要性を実感していただき，その医療機関で働く大勢の勤務医へ情報を伝えてもらいたい。最後に，福岡県医師会は今年度，勤務医委員会内に世代別のワーキンググループを2つ作り，若手や中堅の勤務医の先生方の自主性に任せた活動をしているので参考にしていきたい。

#### コメント 日本医師会 常任理事 今村 英仁

医師の働き方改革はそもそも，医師の過労死という深刻な問題があり，医師やその家族の側から「どうにかしてほしい」という声があがって，国が政治主導で作った制度である。医療制

度や医療政策はすべて政治の結果であり，もし現行の制度に不備や弊害があると感じるならば，私たちは最終的に政治の力によって変えていかなければならない。

国民皆保険制度は昭和36年に始まったが，当初は官製医療と言われて「すべて国の言う通りにしなさい」というものだった。それを医師会の先人たちが「医師は目の前の患者さんのために働かなければいけない」と主張し，医師のオートノミーを勝ち取ってくれた。しかしそろそろ，目の前の患者さんを診るだけでは医療提供できない時代になってきている。どうしたらよりよい医療制度になるか，医師が団結し，特に若い先生方に考えていただくための橋渡しをしていきたい。

#### 出席者

グループワーク参加

大塚常任理事

河野真菜先生（都城市郡医師会病院）

オブザーバー

金丸副会長，荒木常任理事，田畑理事

久永次長，牧野課長，串間課長補佐

#### あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	d	e	b	a	b	e	b	e	b, e

## 九州医師会連合会令和7年度第2回連絡協議会

と き 令和8年2月14日(土)

ところ グランドハイアット福岡

瀬戸専務理事（福岡県医）の進行により開会、平田副会長（福岡県医）の挨拶後、座長に杉副会長（福岡県医）が選出された。

### 1 協 議

「地域住民に対する取組み」と「医師・医学生に対する取組み」について、九州各県医師会に対する事前アンケート結果に基づき、事例報告や、課題、工夫などが発表され、質疑応答や意見交換を行った。

#### 1) 地域住民に対する取組み

各県とも、健康セミナー、出前講座、ウォークラリーなど県民向けの啓発イベントを積極的に開催していた。課題としては参加者が少ないことや健康意識が高い方の参加が多く本当に情報を届けたい健康無関心層に届けられないことが挙げられた。

特色ある取組みとして、沖縄県は、「健康無関心層」をターゲットに、お笑い芸人が出演したり、人気の飲食店が出店する「うりずんフェスタ」を開催。また、ファミリーマートと提携し、健康的なおにぎりを開発中との報告があった。福岡県は、「メディベチャ」という住民と役員が3回にわたり医療についての意見交換を行っていることが報告され、参加者の理解は深まるものの人数が10名程度で効果が限られると課題が挙げられた。

本県からは、宮崎日日新聞の「教えてドク



ター」コーナーで健康情報だけでなく医療制度や医師会活動について理解を得るための記事を掲載していることや、報道との勉強会を広報委員会（学生を含む）が企画し、開催後に記事や番組で取り上げていただいていることを報告した。

#### 2) 医師・医学生に対する組織強化の取組み

各県で、若手医師や医学生に医師会の役割を早期に理解してもらうため、大学講義や研修医オリエンテーションでの説明、若手との意見交換会、デジタル媒体を活用した情報発信などの取組みが行われていた。

本県からは、医学部学生が広報委員に就任し、日州医事（会報）の編集や校正作業だけでなく、報道との勉強会の企画を行っていることや、本会役員が宮崎大学の医局を訪問し医師会への理解を深めていただいていることを報告した。

### 2 総 括 日本医師会 副会長 角田 徹

今回のテーマである「地域住民や若手医師に医師会を理解してもらうための取り組み」は、日本医師会が現在、最も力を入れて取り組むべ

き喫緊の課題である。先ほどからも話が出ているように、診療報酬改定においても、我々が地域でどのような役割を果たしているのか、その実態が正しく伝わらなければ、国民の理解と共感を得ることはできない。

各県から紹介された取組み、例えば沖縄県の「ウリズンフェスタ」や「おむすびプロジェクト」のような、若年層や無関心層をターゲットとしたユニークなアプローチ、福岡県の「メディアベチャ」に見られる住民との深い対話、そして宮崎県や鹿児島県での医学生に対する地道な教育活動など、いずれも示唆に富むものであった。

特に印象的であったのは、単に情報を発信するだけでなく、「顔の見える関係」をいかに築くかという点である。デジタルツールやメディアの活用はもちろん重要であるが、最終的には地域に根ざした個々の医師が住民と直接触れ合い、信頼関係を築いていくことが不可欠であ

る。その積み重ねこそが、医師会という組織の基盤をより強固なものにしていくのだとあらためて確信した。

また、組織率の問題、特に若手医師や勤務医へのアプローチについても、本日共有された各県の成功事例や課題を、全国的な活動に活かしていきたいと考えている。日本医師会としても、皆様の現場での活動をしっかりと支え、医師会が「地域になくてはならない存在」であることを、より力強く発信していく所存である。

最後になるが、本日この会を主催された福岡県医師会、そして九州各県医師会のさらなる発展と、先生方のご健勝を祈念し、私のコメントとする。

出席者－河野会長、小牧・金丸副会長、  
荒木・池井・大塚常任理事、  
田畑理事、竹崎事務局長、久永次長、  
牧野課長、串間課長補佐

## お知らせ

### 県医師会総会の開催について（予告）

例年、6月に開催しておりました県医師会総会につきましては、本年度から2月に開催することといたしました。

本誌1月号に案内を掲載するとともに、各種表彰・祝賀対象者には、郵送にてご案内いたします。

## 日医インターネットニュースから

### ■ベア料の解説資料, 4月中盤までに提供

— 日医・長島氏 —

日医の長島公之常任理事は4月8日の定例会見で、2026年度診療報酬改定で対象職種の拡大や大幅な増点等の見直しが行われたベースアップ評価料の要点を説明。6月から算定する場合、全医療機関で5月中に届け出が必要とした上で、日医作成の解説資料を「4月中盤くらいまでには提供したい」と話した。「(ベア評価料を)職員の処遇改善にぜひ役立てて、他産業への人材流出を止めていただきたい」と強調した。

長島氏は、ベア評価料の今年3月における届け出状況が、無床診療所で59.2%、有床診療所で70.0%になったと言及。昨年12月時点のそれぞれ41.1%、51.8%から、ともに約20ポイントアップしたと説明し、届け出割合をさらに上げていきたいとの認識を示した。

今改定により、届け出の負担が大幅に軽減されたことにも言及。これまで「作成が面倒ではないか」との指摘があった賃金改善計画書は不要となり、計算が必要な項目も対象職員の人数(パートは常勤換算)のみになったと述べた。

「6月から算定する場合は、全ての医療機関で5月中に届け出が必要」と説明した上で、6～7月の算定・賃上げ実施分を、賃金改善中間報告書として8月に報告するよう求めた。3月以前から継続算定している医療機関については、25年度分の賃金改善実績報告書も必要だとした。

厚生労働省は、今改定でのベア評価料などの賃上げ分について、「26・27年度にそれぞれ3.2% (看護補助者、事務職員は5.7%) のベアを実現するための措置」としている。長島氏は、疑義解釈通知を示しながら「ベア評価料の算定要件は、評価料として入ってきた収入を全

額賃上げに使うことであり、政府の目標数値に届くことは要件となっていない」と指摘。「政府目標を目指すための自助努力を妨げるものではない」としながら、「賃上げ目標の数値に届かなくても、ベア評価料は算定できる」と話した。

3月の臨時代議員会でも触れたベア評価料の分かりやすい解説資料については、「4月中盤くらいまでには提供したい」との考えを示した。

### ●他産業に追い付ける賃上げを目指す

一方、松本吉郎会長は、「小さなクリニックでは、ベア評価料の届け出や報告に関して『まだ、ハードルが高いと感じる』との意見も頂いている」と説明。その上で「日医としては、職員が『医療機関でしっかりと働きたい』と思えるような、他産業に追い付ける賃上げを目指している」と述べ、改めて積極的な算定を呼びかけた。

(令和8年4月10日)

### ■医療物資供給不安「必要量発注が重要」

— 上野厚労相と7団体が共有 —

中東情勢の悪化による医療物資などの供給不安に関し、上野賢一郎厚生労働相は4月10日、日医など医療関係7団体と意見交換した。厚生労働省によると、上野厚労相と各団体の代表者は、国と各団体が協力し、必要量に見合う分の医療物資を購入・発注するよう医療機関に促すことが重要という認識を共有した。

次の7団体が参加した。▽日本医師会▽日本病院会▽全日本病院協会▽日本医療法人協会▽日本精神科病院協会▽日本歯科医師会▽日本薬剤師会—。

会合の冒頭、上野厚労相は「医療機関や薬局においては当面の必要量に見合う量のみ発注するなど、落ち着いた対応をお願い申し上げます」

と求めた。物資を使用する側の医療現場の状況を把握することの重要性も指摘した。

厚労省の記者団への説明によると、各団体から共通して大きく次の3点について意見が上がった。▽必要な物資が確保できないことに伴う買い占めへの懸念▽物資の値上がりの懸念▽流通状況に関し国から適切な情報発信を行うことへの要望―。

会合後にメディアファクスなどの取材に応じた日医の松本吉郎会長によると、次の4点を要望した。▽収集した情報を踏まえて速やかに実効性のある供給確保策へつなげる▽供給の優先順位付けや医療機関間で融通する体制の整備、必要に応じ規制を柔軟に運用する▽供給状況や今後の見通しについて正確かつ分かりやすい情報提供を行う▽地域医療提供体制に支障が生じないようサプライチェーン全体を通じた安定供給体制の確保に万全を期す―。

松本会長は、現場から一部の医療材料が入手しづらいとの声が出ているとし、「医療機関側も不安が生じると、少し多めに購入しておこうという当たり前の考えが浮かぶ。そうなると供給が安定化しないことにつながる」と懸念。厚労省が3月末に示した、必要量に見合う発注・受注を行うよう医療機関などに求める事務連絡に触れ、適切な対応を求めた。

### ●買い占め・便乗値上げに「厳しい対応を」

日医の相澤孝夫会長もメディアファクスの取材に応じ、「(病院団体側からは)安定供給体制の継続的な維持や、値上げへの対応を訴える意

見が強かった」と説明。特に買い占めや便乗値上げについては、協力しないメーカーや医療機関などの名称公表も視野に入れた厳しい対応を求める意見もあったという。相澤会長は「機運に乗じた安易な値上げは納得できない」と強調した。

全日病の神野正博会長は取材に「医療物資の価格が引き上げられる事態になった場合、物価スライド制の観点からも期中改定を検討材料に加えるべきと意見した」と語った。

(令和8年4月14日)

## ■26年度改定、賃上げで特設ページ

### ― 厚労省、必要な情報を整理・集約 ―

厚生労働省はこのほど、同省ホームページに2026年度診療報酬改定に関する賃上げの「医療機関・訪問看護ステーション・保険薬局向け特設ページ」を設けた。賃上げ対応についての情報などを整理・集約したもの。

無床診療所と有床診療所、病院がベースアップ評価料の届け出に必要な様式を把握できる図説を示したほか、スケジュールなどを示している。6月からベースアップ評価料を算定するには、すべての医療機関などで5月中に該当する様式で届け出る必要があることを呼びかけている。

詳細は特設ページ ([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411\\_00053.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00053.html))。

(令和8年4月24日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース  
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

## 医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合 団体定期保険  
(プラスグループ生命共済)

## 最高 6,000 万円の死亡・高度障害を保障

ご開業されたり、新たな保障が必要となられた先生方、また配偶者・お子様を含むご家族の保障をご検討中の先生方には、是非おすすめいたします。

## 7つの特長

## ◆死亡・高度障害のみを保障

生命保険のベースとなる保障として是非ご加入ください！

## ◆70歳まで新規加入可能！

※従来の制度では新規加入は50歳迄と制限がありました。

※最高80歳までご継続可能です。

## ◆申込は告知書のみ！

告知書のみのお申込みで、最高6,000万円まで加入できます。

## ◆団体割引適用！

低廉な保険料で、必要な保障を得られます。

## ◆口座設定不要！

保険料は宮崎県医師会へのお届け口座から毎月引き去ります。

## ◆配当金をお支払い

1年ごとに、剰余金が生じた場合には配当金をお支払いします。

## ◆毎年、保障額の見直しが可能

ライフスタイルに合わせて、必要補償額のみご加入いただけます。

資料の送付をご希望の場合は下記よりご連絡ください。



MIYAZAKI Medical Cooperative Association

宮崎県医師協同組合

電話 0985-23-9100

メール isikyoku@miyazaki.med.or.jp







お問い合わせは  
こちらから

## お知らせ

## 「CKD シール」のさらなる普及に向けた運用の変更について

本県では、慢性腎臓病(CKD)の重症化予防のため「CKD シール」を導入しております。  
この度、シールのさらなる普及と活用機会の拡大を図るため、運用の見直しを行いました。

## 【CKD シールの種類と基準(お薬手帳に貼付)】

ステージ	G1&G2	G3a	G3b	G4&G5
eGFR区分	60以上	45~59	30~44	29以下
ほか	尿蛋白(+),画像所見	左記は問わない	左記は問わない	左記は問わない
シール (色)	 eGFR $\geq$ 60 CKD 年月 尿蛋白、画像所見 (緑)	 eGFR45~59 CKD 年月 (黄)	 eGFR30~44 CKD 年月 (橙)	 eGFR $\leq$ 29 CKD 年月 (赤)

## ○主な変更点

## ・貼付機会の拡大

シールの普及を加速させるため、これまでの医師に加え、薬剤師による貼付を可能としました。

## ・形状の変更

従来の丸型から、「四角形」へ変更しました。

## ○活用の流れ

対象となる患者さんにCKDシールの目的を説明、同意を得た上でお薬手帳の表紙へ貼付をお願いします(半年ごとの更新、またはステージ変更時に適宜更新)。

## ○新運用の開始時期

令和8年4~5月に県内の内科・泌尿器科標榜医療機関に通知及びシールを送付しますので、届き次第、順次取り組んでください。

※旧シール(丸型)の在庫がある場合は、引き続きご使用いただけます。

## ○その他

詳細は宮崎県HPをご覧ください。

## ○問合せ先

宮崎県福祉保健部健康増進課 がん・疾病対策担当

TEL0985-26-7079、FAX0985-26-7336



県庁ホームページ

「CKD シール」をより身近なものとし、県民の腎臓を守るための取り組みです。  
シールの積極的な活用と普及に、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 医師国保組合だより

## 「第26回歩こう会」に参加して

宮崎市 <sup>うえ</sup>上 <sup>やま</sup>山 <sup>たか</sup>貴 <sup>こ</sup>子

「春に三日の晴れなし」といいます。4～5日前からすっきりしない天気だったので“歩こう会”は大丈夫だろうかと心配しました。しかしながら最低気温が3℃と3月にしては肌寒い朝でしたが、澄みきった青空のもとまさに行楽日和となりました。今回は西都原考古博物館1階「エントランスホール前」に集合でしたが、ドライブ気分で車を運転しながら現地へと向かいました。現地には9時15分くらいに到着。すでにスタッフの方々に待機していただいたのでたいへん助かりました。9時30分には博物館内に入場。とても立派な博物館にもかかわらず入場料は無料なのでびっくりしました。

さて、開会式の後、昨年も指導していただいた帖佐悦男先生から40分かけて直接ロコモ予防体操をわかりやすく丁寧に解説をしていただきながら楽しくからだを動かすことができました。寒さでこわばっていた筋肉を徐々にほぐした後、からだが温まり動きやすくなったことを実感しながら、後の博物館内や古墳群見学で“歩く”ことに備えました。短時間でしたが、こころもからだもすっきり。健康に人生100年を目指すためにからだを動かすことの大切さを学びました。

さて博物館内は専門のガイドの方に説明を受けながら見学しましたが、さまざまな展示品が



ありびっくり。特に収蔵展示室には国内随一の質と量を誇る古人骨と鉄製品の収蔵状況をガラス越しに見ることができます。厳重な管理のもとたいへんきれいな人間の頭蓋骨を多数見ることができましたが、何とも言えない“何か？”を感じたような気がしたのは私だけでしょうか。最後に3階の展望台に上がり鶯の鳴き声を聞きながら、まだ菜の花が満開ではありませんでしたが西都原古墳群を360度展望しながら本格的な春がもうすぐそこまで来ていることを感じました。

その後“このはな館”に移動し、別のガイドさんから5世紀半ごろに築造された“男狭穂塚・女狭穂塚”そして“鬼の窟”について50分ほどかけて歩きながら説明を受けました。“男狭穂塚・女狭穂塚”はご存じだと思いますが、宮内庁の管轄で普段は中には絶対足を入れることができません。たいへん神聖な場所です。地中レーダー探査の結果いずれも全長約176mあるそうです。“もしかしたら将来AIを使って

もっと詳しく分析されることがあるかもしれない？”とか“神聖な場所なのでそのようなことをすると罰が当たる？かもしれない”などなどさまざまなことを思い巡りながらこの場を後にしました。

1年に1度、11月の第1日曜日に古墳祭があり中に入って参拝できるそうです。とはいっても西都原はこれから桜咲く季節を迎えます。桜が満開のころにぜひともお花見に訪れたいと思いました。

2時間は歩いたのですでに11時ごろには空腹でした。13時に今回の昼食会場である普段なかなか予約がとれない「入船」に場所を移し昼食を取った後、解散となりました。

今回は天気にも恵まれ西都原古墳群を探訪しながら歩くことができ、また美味しい食事もとることができたので、楽しく“歩こう会”に参加することができました。参加した皆様、スタッフの方々お疲れ様でした。



## 宮崎県医師国民健康保険組合第134回通常組合会

と き 令和8年3月5日(木)

ところ 県医師会館とWebのハイブリッド形式

原田議長の開会宣言後、秦理事長から定率国庫補助率の削減の可能性や高額医療費への対応、不安定な国際情勢など最近の動向について挨拶があり、報告・協議に入った。続く議事では、規約の一部改正並びに令和8年度事業計画・予算など5議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。その概要は次のとおりである。

### 1 報 告

#### 令和7年度上半期の事業現況について

令和7年4月から現在までの事業現況として、会議開催状況、被保険者数の減少（10年前と比較して約2割減少）、保険給付費は前年並みで推移していることが報告された。保健事業については、特に健康診断の受診率が低く、定率国庫補助率の削減に繋がる可能性があるため、健診結果の提出について協力を求めた。決算見込みについては、前期高齢者交付金の増加などにより単年度収支は黒字を見込んでいるが、今後の給付状況によって変動の可能性がある旨の説明があった。

### 2 協 議

#### 子ども・子育て支援納付金分保険料の徴収について

令和8年度から開始される国の子育て施策の財源となる子ども・子育て支援納付金分保険料

の徴収について説明があった。当組合の負担見込額821万円のうち、国庫補助金として交付予定の50万円を控除した額を被保険者で按分し月額500円を徴収することが決定した。なお、高校生年代までの被保険者は徴収対象外とする。

### 3 議 事

#### 議案第1号 規約の一部改正（案）について

子ども・子育て支援納付金分保険料の徴収開始に伴い、組合格約第48条「保険料の賦課額」に当該項目を追加する改正案が提案され、原案どおり承認された。

#### 議案第2号 令和8年度事業計画（案）について

保険給付、健診・予防接種などの保健事業、被保険者の新規加入促進などを柱とする事業計画について、利用者が極めて少ない「脳ドック等検査補助事業」と、行政補助のある「肺炎球菌ワクチン接種補助事業」を計画から削除するなどの見直し案が示され、原案どおり承認された。

#### 議案第3号 令和8年度歳入歳出予算（案）について

歳入は、国民健康保険料3億7,515万円、国庫支出金4,965万円、前期高齢者交付金6,900万円、高額医療費等共同事業交付金1,800万円、前年度繰越金1億3,500万円などを計上した。歳出は、総務費4,949万円、保

険給付費2億7,860万円、後期高齢者支援金9,575万円、介護納付金3,750万円、子ども・子育て支援納付金821万円、高額医療費等共同事業拠出金2,444万円、保健事業費2,229万円、予備費1億2,543万円などを計上し、歳入歳出総額は6億4,694万9千円となった。以上の予算について、原案どおり承認された。

#### 議案第4号 令和8年度法令遵守（コンプライアンス）のための実践計画（案）について

役職員の不祥事故の未然防止及び事故対応体制など4項目からなる実践計画案が、原案どおり承認された。

#### 議案第5号 職員退職給与準備積立金の処分について

令和7年度末に定年退職する職員1名の退職手当支給に充てるため、当該年度予算として既に組合会の承認を得ている職員退職給与準備積立金538万円を取り崩す件について説明があり、原案どおり承認された。

出席議員 28名（議員定数30名）

1番 牛谷 義秀※	15番 野邊 俊文
2番 内野 竜二※	16番 大岐 照彦※
3番 岡留 敏秀※	17番 鶴木 俊秀※
4番 尾田 朋樹※	19番 安藤 誠※
5番 菊池 安剛※	20番 井上 英豪※
6番 木佐貫 博人	21番 長田 浩伸※
7番 國枝 良行	22番 竹中 美香※
8番 神尊 敏彦※	23番 蟻塚 高生
9番 佐藤 潤一郎	24番 永友 淳司
10番 田中 宏幸※	25番 川西 昭人
11番 谷口 二郎	26番 津曲 俊郎
12番 原田 雄一	27番 杉原 純次※
13番 弘野 修一	28番 石澤 宗純※
14番 早稲田 真	29番 佐藤 元二郎※

※リモート出席

出席理事 10名

理事長 秦 喜八郎
常務理事 佐々木 究
常務理事 市来 能成
理事 北村 洋
理事 高木 純一
理事 玉置 昇
理事 上山 貴子
理事 河原 勝博

出席監事 2名

監事 棚田 敏文
監事 山路 健

# 令和8年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

( 歳 入 )

(単位：円)

款	項	予算額	構成比
1. 国民健康保険料	1. 国民健康保険料	375,151,000	57.99%
2. 一部負担金	1. 一部負担金	1,000	0.00%
3. 国庫支出金		49,652,000	7.68%
	1. 国庫負担金	1,650,000	(3.32%)
	2. 国庫補助金	48,002,000	(96.68%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前期高齢者交付金	69,001,000	10.66%
5. 出産育児交付金	1. 出産育児交付金	1,000	0.00%
6. 県支出金	1. 県補助金	2,000	0.00%
7. 共同事業交付金	1. 共同事業交付金	18,000,000	2.78%
8. 財産収入	1. 財産運用収入	1,000	0.00%
9. 繰入金	1. 繰入金	5,000	0.00%
10. 繰越金	1. 繰越金	135,000,000	20.86%
11. 諸収入		135,000	0.03%
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	(0.74%)
	2. 預金利息	50,000	(37.04%)
	3. 雑収入	84,000	(62.22%)
歳入合計		646,949,000	100.00%

( 歳 出 )

(単位：円)

款	項	予算額	構成比
1. 組合会費	1. 組合会費	4,563,000	0.70%
2. 総務費	1. 総務管理費	49,491,000	7.65%
3. 保険給付費		278,602,000	43.06%
	1. 療養諸費	252,460,000	(90.62%)
	2. 高額療養費	22,001,000	(7.90%)
	3. 移送費	1,000	(0.00%)
	4. 出産育児諸費	500,000	(0.18%)
	5. 葬祭諸費	840,000	(0.30%)
	6. 傷病諸費	2,800,000	(1.00%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後期高齢者支援金等	95,757,000	14.80%
5. 前期高齢者納付金等	1. 前期高齢者納付金等	206,000	0.03%
6. 介護納付金	1. 介護納付金	37,500,000	5.80%
7. 流行初期医療確保拠出金等	1. 流行初期医療確保拠出金等	2,000	0.00%
8. 子ども・子育て支援納付金		8,210,000	1.27%
9. 共同事業拠出金等		24,446,000	3.78%
	1. 共同事業拠出金	18,068,000	(73.91%)
	2. 共同事業負担金	6,378,000	(26.09%)
10. 保健事業費		22,290,000	3.45%
	1. 特定健康診査等事業費	3,461,000	(15.53%)
	2. 保健事業費	18,829,000	(84.47%)
11. 積立金	1. 積立金	5,000	0.00%
12. 組合債費	1. 組合債費	1,000	0.00%
13. 諸支出金	1. 償還金及び還付加算金	441,000	0.07%
14. 予備費	1. 予備費	125,435,000	19.39%
歳出合計		646,949,000	100.00%


## お知らせ

## 第27回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

宮崎県医師会医家芸術展は、会員の医師およびそのご家族から、写真、書道、絵画、その他の作品を出展いただき開催しているもので、今年で27回目を迎えます。

今年度も下記の要領で作品を募集いたしますので、ご出展を心よりお待ちしております。

### 応 募 要 領

- 1 開催期間：8月12日(水)～16日(日) 10時～18時（最終日のみ15時まで）
- 2 搬入・搬出日時について：  
搬入日時：8月11日(火・山の日祝日) 10：00～10：30  
搬出日時：8月16日(日) 16：30～17：00
- 3 場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー（宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内）
- 4 応募作品：写真、書道、絵画、その他作品  
※サイズに限りがあります。事務局にご相談ください。  
※肖像権および著作権へのご配慮をお願いいたします。  
※作品の搬入・搬出につきましては、各自の責任のもとでお願いしています。
- 5 応募資格：宮崎県医師会会員及び家族（高校生以上）、宮崎大学医学部医学科学生
- 6 応募方法：インターネットからのお申込み  
以下のいずれかの方法で回答フォームにアクセスし、お申し込みをお願いします。
  - 1) URLからアクセスして回答 <https://x.gd/C8LdP>
  - 2) 右記二次元コードからアクセスして回答  
応募用紙からのお申込み  
県医師会ホームページより応募用紙をダウンロードし、FAXにてご提出ください。  
宮崎県医師会ホームページ「宮崎県医師会 第27回医家芸術展 作品募集」  
ホーム>医師の皆さまへ>様式・掲示物ダウンロード>第27回宮崎県医師会医家芸術展 作品募集!  
応募用紙の郵送/FAXをご希望の方は、事務局までご連絡ください。
- 7 応募締切：5月22日(金)
- 8 応募先/問合せ先：宮崎県医師会学術広報課  
TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550

#### スマホで撮影した写真でも応募できます！

最近のスマホは、カメラ性能も非常に高いので、きれいな画質で大きくプリントすることができます。旅先で撮った美しい風景やご自慢のペットの写真などありましたら、ぜひ応募してください。

方法：スマホをカメラ店（カメラのキタムラやよしみカメラ等）に持ち込んで、「プリント」と「額装」をしてもらってください。

参考価格 A3サイズ 12,000円～全紙サイズ 24,000円（よしみカメラの例）

## 追 悼 の こ と ば

前 宮崎県医師会 会長

稲 倉 正 孝 先生

(昭和14年2月26日生 87歳)

## 弔 辞

今は亡き稲倉正孝先生に、宮崎県医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

4月6日、先生の突然のご訃報に接し、にわかには信じられず、会員・役職員一同、深い悲しみに包まれております。

先生は、昨年末にお身体の調子を崩され、宮崎市郡医師会病院にご入院されておられました。慣れ親しんだ自院での療養を経て、4月6日午後4時15分、87歳のご生涯を静かに閉じられました。

ご遺族の皆様方、また先生を慕われる多くの皆様のご心中を、お察し申し上げますとき、お悲しみはいかばかりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、昭和14年2月26日、宮崎市でお生まれになり、幼少にしてその才誉れ高く、昭和39年3月に、九州大学医学部を優秀な成績で卒業になられ、県立宮崎病院でのインターンの後、昭和40年から九州大学医学部放射線科にご入局され、国立病院九州がんセンターや宮崎医科大学などでご研鑽をつまれました。

そして昭和56年1月、現在地の宮崎市大塚町馬場崎に、稲倉医院をご開業になり、以来40有余年の永きにわたり、昼夜を分かたぬご診療をもって、地域医療ひと筋にお過ごしになられました。

先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者様からの信望を集めて、地域に根差した診療活動を展開され、我々医師会員にとりまして、正に範たるものでありました。

先生のご活躍の場は、日常のご診療だけにと

どまらず、その卓越した識見と指導力をもって、医師会活動全般にわたってご指導をいただきました。

平成6年から6年間、宮崎県内科医会会長にご就任され、県内の内科医療の活性化にご尽力されたのを皮切りに、平成10年から宮崎県医師会常任理事10年、平成20年4月から平成26年6月まで宮崎県医師会会長として3期6年にわたって、まさに、宮崎県の地域医療を守る要として、医師会の礎をお築きいただきました。

その間、平成24年には、九州医師会連合会会長として第112回九州医師会医学会を主宰し、日本医師会理事および日本医師会代議員などの要職を歴任され、医師会の発展、国民医療の向上、推進に献身的にご尽力いただきました。

一方、先生は、ご診療や医師会活動の合間を縫って、ゴルフをご趣味とされ友人とよくラウンドされていたとお聞きしております。

また、先生はご家庭にありましては、慈しみと優しさをもって導き育てられましたお二人のお子様がおられますが、ご長男の琢也先生は、医療法人敬愛会稲倉医院の院長としてご活躍中であり、後顧の憂いなきものと存じます。

私ども会員にとりまして、先生のご逝去は誠に残念至極に存じますが、先生のご道徳を心の支えとして地域医療の発展のため、努力していく所存でございます。

どうぞ、奥様をはじめご親族の行く末にご加護あらんことをお祈りいたしますとともに、私たちをいつまでもお見守りくださいますようお願い申し上げます。

ここに先生のご功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたしまして、お別れの言葉といたします。

稲倉正孝先生、どうぞ安らかに眠りください。

令和8年4月9日

公益社団法人 宮崎県医師会  
会長 河野 雅行



## 4月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年4月1日～4月22日

1	イン・ザ・メガチャーチ	朝 井 リ ョ ウ	日本経済新聞出版
2	科学的に証明されたすごい習慣大百科	堀 田 秀 吾	SBクリエイティブ
3	青天	若 林 正 恭	文 藝 春 秋
4	殺人の門 上・下	東 野 圭 吾	角 川 文 庫
5	なぜ生きる？	高 森 顕 徹	1 万 年 堂 出 版
6	人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
7	熟柿	佐 藤 正 午	角 川 書 店
8	コンビニ人間	村 田 沙 耶 香	文 春 文 庫
9	やりたいことが見つかる世界の果てのカフェ	ジョン・ストレルキー	ダイヤモンド社
10	大河の一滴 最終章	五 木 寛 之	幻 冬 舎

お知らせ

宮崎県医師会・医師国保組合・  
医師協同組合事務局職員配置

令和8年4月1日付の事務職員配置をお知らせします。

県医師会

所属課名	役職名	氏名	
事務局 長		竹崎 栄一郎	
事務局 次長		久永 夏樹	
事務局 次長		松本 俊郎	※兼務
総務課	課長	牧野 諭	
	主任	立田 勝弘	
経理課	主任	湯地 夏来美	
	課長補佐	松本 優美子	
	参事	串間 恵子	
	主事	小川 道隆	
学術広報課	課長	久永 夏樹	※兼務
	係長	永田 彰子	
	主事	松崎 遥	
	主事	弓削 圭介	
地域医療課	課長	大野 眞琳	
	係長	野尻 早苗	
	主事	渡邊 純子	
	主事	池田 葵	
	主事	福田 里紗	
保険課	主事	福川 幸亮	
	主事	荒川 章	
	課長	甲斐 雅代	※兼務
臨時職員	係長	湯浅 悠佑	※兼務
		羽田野 悠佑	
		吉良 美人子	

※県医師会事務局長は県医師国保組合並びに県医師協同組合の事務局長を兼ねる

県医師国保組合

事務 長		竹崎 栄一郎	※兼務
課長		湯浅 和代	
主事		羽田野 悠佑	
主事		阪本 みんと	
臨時職員		崎野 文子	

県医師協同組合

事務 長		竹崎 栄一郎	※兼務
次長		松本 俊郎	
保険課	課長	大野 正博	
	参事	杉田 秀博	
福祉課	係長	安井 順子	
	課長補佐	鳥井元 進一	
	係長	田崎 圭一郎	
購買課	係長	堀口 美香	
	主事	佐藤 正博	
	臨時職員	前田 真由	
	臨時職員	與俊 弘	
		春山 由美子	



### 令和8年3月3日(火) 第11回常任理事協議会

#### 医師会関係 (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①特別支援学校医療的ケア運営協議会に係る委員の御推薦について  
→医療的ケア実施校における総括的な管理体制の構築に当たり、実施体制を点検し関係機関との連絡調整を図るための会議で、引き続き高木常任理事を推薦することが承認された。
- ②児童扶養手当の支給に関する障害判定を行う非常勤医師(嘱託医)の推薦について  
→児童扶養手当の支給に関する障害判定を行う非常勤医師について、精神障害、肢体不自由障害、内部障害、視覚障害に関する医師それぞれ1名ずつの推薦依頼があり、再任の方向で現委員の意向を確認し、辞任の申出があれば専門分科医会に人選を依頼することが承認された。
- ③宮崎県国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会委員の推薦について  
→介護給付費等請求書の適正な審査に資することを目的に設置される委員会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元祐保先生を推薦することが承認された。

#### 2. 3/29(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

3月29日(日)の日医臨時代議員会に先立って開催される連絡会議で、日医代議員の河野会長、小牧・金丸副会長、市来常任理事

の4名が出席することが承認された。

#### 3. R9.2/27(土)宮崎県医師会館施設使用願いについて

本県における救急医学の発展及び救急医療の普及と円滑な運営に貢献することを目的に開催される宮崎救急医学会を開催するために土曜日の県医師会館使用許可願があり、使用目的を勘案し特例で許可することが承認された。

#### 4. 令和7年度健康教育事業費補助金交付申請について

健康増進や疾病対策についての正しい知識の啓発に取り組む郡市医師会及び専門分科医会へ補助金を交付する事業で、申請のあった県眼科医会と県皮膚科医会に交付することが承認された。

#### 5. 3/12(木)かかりつけ医機能報告制度説明会の開催について

本年1月から都道府県への報告が開始された「かかりつけ医機能報告制度」について説明するための会で、金丸副会長・玉置常任理事が出席することが承認された。

#### (報告事項)

1. 2月末日現在の会員数について
2. 3/2(月)(県医)県アイバンク協会理事会について
3. 2/25(水)(宮大医学部)県がん診療連携協議会について
4. 2/26(木)(都城保健所)都城北諸県地域医療構想調整会議について
5. 3/1(日)(日医)在宅医療シンポジウムについて
6. 2/26(木)(県防災庁舎)県個人情報保護審議会について
7. 2/25(水)(県医)県医師会創立137周年記念医学会について
8. 2/25(水)日医医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会について
9. 2/26(木)(県医)医師の働き方改革Web研修会について
10. 2/27(金)(県医)宮崎産業保健総合支援センター運営協議会について
11. 2/26(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
12. 1/16(金)医療従事者向け認知症対応力向上研修会について
13. 3/1(日)(県医)日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナーについて

**医師連盟関係  
(議決事項)****1. 自民党県連総務、支部長合同会議のご案内  
並びに第51回衆議院総選挙に関するご意見  
聴取のお願いについて**

河野委員長が出席することが承認された。

**令和8年3月10日(火) 第2回理事会****医師会関係  
(議決事項)****議案第1号****令和7年度宮崎県医師会会費減免に関する件**

令和7年度の会費減免について、免除申請者は312名、免除総額は680万2千円との説明が行われ、原案通り可決承認された。

**議案第2号****令和8年度宮崎県医師会事業計画に関する件**

序文、重点項目及び具体的事項等の説明が行われ、審議の結果、軽微な変更及び県への提出様式に合わせたレイアウト等の変更は会長一任とすることを確認したうえで、原案通り可決承認された。

**議案第3号****令和8年度宮崎県医師会収支予算に関する件**

予算編成の前提となる重要事項3項目や、中期的収支均衡及び公益目的事業比率等の説明が行われ、審議の結果、経常収益計4億2,129万3千円、経常費用計4億3,737万9千円、当期経常増減額1,608万6千円の単年度赤字となる予算が、原案通り可決承認された。

**議案第4号****令和8年度宮崎県医師会資金運用計画に関する件**

令和8年度の運用上限額を流動資産1億2,000万円、会館補修費積立資産4,000万円、建物減価償却積立資産1億円、財政調整積立資産8,451万円、会館建設償返済積立資産8,000万円、退職給付引当資産の合計4,000万円とし、これを超えない範囲で資金運用規程に基づき運用したいとの説明が行われ、審議の結果、原案通り可決承認された。

**議案第5号****宮崎県医師会入会時負担金賦課徴収規程の改正  
に関する件**

第三者継承が増加していることに関連し、入会金の徴収に不具合が生じているため、規程を変更せずに理事会決定事項により運用したいと説明が行われ、審議の結果、原案通り可決承認された。

**議案第6号****宮崎県医師会公益充実資金等取扱規則の改正に  
関する件**

令和7年の法改正に伴う「公益充実資金」の取り扱いを追加した規則に改定したいと説明が行われ、審議の結果、原案通り可決承認された。

**議案第7号****役員賠償責任保険の契約に関する件**

役員としての業務のために行った行為に起因して損害賠償請求がなされた場合の保険を、被保険者を理事及び監事として契約したいと説明が行われ、審議の結果、原案通り可決承認された。

**議案第8号****第183回宮崎県医師会臨時代議員会の開催に  
関する件****議案第9号****第184回宮崎県医師会定例代議員会の開催に  
関する件**

(議案第8号と第9号は一括審議)

定款第24条及び選挙細則第3条等の規定に基づき、任期満了に伴う役員選挙を主な議題とする臨時代議員会を令和8年5月19日(火)、収支決算を主な議題とする定例代議員会を令和8年6月20日(土)に開催したいと説明があり、審議の結果、原案通り可決承認された。

**令和8年3月10日(火) 第23回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 4/11(土) (福岡)九州医師会連合会第428回  
常任委員会の開催について**

河野会長が出席することが承認された。

議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

**2. 5/23(土) (福岡)九州医師会連合会諸会議****①九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議****②九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会****③九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議****の開催について(九医連会長より)**

現と次期の県医会長・日医代議員等が対象となる会議で、河野会長と日医代議員の小牧・金丸副会長、市来常任理事の出席が承認された。次期の対象者の出欠については決定次第回答することとした。また、常

任委員会への議題提出の希望があれば事務局を經由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

### 3. 母体保護法の指定申請について

医師の申請1名を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

### 4. 4/15(水) (日医) 都道府県医師会新たな地域医療構想に関する担当理事連絡協議会の開催について

4月からの改正医療法の施行及びガイドラインの内容を含めた今後の医療提供体制の方向性を説明し、都道府県医師会との質疑応答や意見交換により相互理解を深めることを目的に開催される協議会で、金丸副会長が現地で、玉置常任理事と落合常任理事がWebで出席することが承認された。

### 5. 日本災害医学会「令和7年度災害医療コーディネーションサポートチーム研修」の受講者募集について

災害医療本部の支援活動ができる医師を育成するために開催される研修で、九州ブロック代表で落合常任理事が出席することが承認された。

### 6. 5/28(木)令和8年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の開催について

勤務医の抱える諸問題に対し、地域の実情を踏まえより実態に即した現状を把握・検討するための協議会で、担当理事である田畑理事が現地で、金丸副会長と落合常任理事がWebで出席することが承認された。

#### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 3/5(木)県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会について
3. 3/4(水) (日医) 日医地域医療対策委員会について
4. 3/5(木) (東京)「日本医師会赤ひげ大賞」表彰式・レセプションについて
5. 3/3(火) (県医) 母体保護法指定医師審査委員会について
6. 3/4(水) (県医) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会について
7. 3/4(水) (県医) 県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会について
8. 3/7(土) (シーガイア) 病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会について

9. 2/28(土)レジナビFairオンライン2026宮崎県について
10. 3/6(金)在宅医療研修会企画小委員会について
11. 3/9(月) (MRTmicc) 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議について
12. 3/5(木)日医救急災害医療対策委員会について
13. 3/7(土) (鹿児島) 鹿児島県医師会役員との救急災害医療に関する意見交換会について
14. 3/7(土)・8(日) (県医) 県産婦人科医会ひむかセミナーについて
15. 3/7(土)・8(日) (日医) 日医医療情報システム協議会について

### 令和8年3月24日(火) 第24回全理事協議会

#### 医師会関係

#### (議決事項)

1. 会費減免申請について
 

疾病による日医・県医会費減免4名と、高齢による県医会費減免1名の申請が承認された。
2. 資金の運用について
 

令和8年4月に満期を迎える資産4件について、利率変更による再協議を行い引き続き定期預金に預け入れることが承認された。
3. 宮崎県医師会広報委員会の委員について
 

広報委員会の任期が令和8年3月31日で満了となるため、次期の委員構成および委員長・副委員長の提案があり承認された。
4. 本会外の役員等の推薦について
  - ①生活保護法に基づく県本庁嘱託医等の推薦について
 

→生活保護法に基づく医療扶助の要否の審査等を行う嘱託医について任期満了に伴う推薦依頼があり、現職の県本庁嘱託医2名と郡部福祉事務所精神科嘱託医5名の計7名(一部重複)について、現委員を推薦することが承認された。
5. 業務委託について
  - ①令和8年度広域予防接種業務委託契約について
 

→小児の定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、県内統一の予防接種委託料及び事務手数料で契約を進めることが承認された。
  - ②令和8年度広域高齢者肺炎球菌感染症及び带状疱疹予防接種業務委託契約について
 

→高齢者の肺炎球菌感染症及び带状疱疹

定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、県内統一の予防接種委託料及び事務手数料で契約を進めることが承認された。

6. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員（保険医代表）の推薦について

→「保険者を代表する委員」である県放射線科医会推薦の委員の辞任に伴い、県放射線科医会に後任推薦を依頼することが承認された。

7. 4・5月の行事予定について  
(報告事項)

1. 3/13(金) (宮大) 宮大経営協議会について
2. 3/13(金) (宮大) 宮大学長選考・監察会議について
3. 3/18(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
4. 3/19(木) (日医) 日医有床診療所委員会について
5. 3/16(月) (県婦人会館) 県移植推進財団定例理事会について
6. 3/19(木) (県防災庁舎) 県国民健康保険運営協議会について
7. 3/16(月) (日南保健所) 日南串間地域医療構想調整会議について
8. 3/17(火) (県医) 厚労省医療政策研修会について
9. 3/23(月) (県防災庁舎) 県メディカルコントロール協議会総会について
10. 3/24(火) (県総合福祉センター) 県社会福祉協議会評議員会について
11. 3/24(火) (県防災庁舎) 県総合計画審議会並びに専門部会について
12. 3/13(金)・19(木) (県医) 広報委員会について
13. 3/16(月) (県医) 都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会について
14. 3/12(木) (九州厚生局宮崎事務所) 社会保険医療担当者の集団的個別指導について
15. 3/19(木) (県防災庁舎) 県周産期医療協議会について
16. 3/19(木) (県防災庁舎) 県母子保健運営協議会について
17. 3/16(月) (県医) 県医医学会役員会について
18. 3/17(火) (県総合保健センター) 県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会について

19. 3/13(金) (大分) 日医医師会共同利用施設検討委員会について
20. 3/18(水) (県総合保健センター) 県生活習慣病検診管理指導協議会肺がん部会について
21. 3/12(木) (東京) 日医未来医師会ビジョン委員会 自民党青年局との意見交換会について
22. 3/17(火) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について
23. 3/20(金) (沖縄) 沖縄県医師会うりずんフェスタについて
24. 3/23(月) (県医) 県臨床研修・専門研修運営協議会について
25. 3/24(火) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
26. 3/21(土) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・全体研修会について
27. 3/12(木) (県医) 日医主催かかりつけ医機能報告制度説明会について
28. 3/11(水) (県医) JMAT・JRAT合同研修会について
29. 3/14(土)・15(日) (県医) ICLS指導者養成ワークショップ・ALS研修会について
30. 3/17(火) (宮大医学部) 県ドクターヘリ運航調整委員会について
31. 3/11(水) (日医) 日医公衆衛生委員会について
32. 2/15(日) (県医) 緩和ケアチーム研修会について

医師連盟関係  
(議決事項)

1. 4/21(火) (東京) 自見はなこ政策セミナー開催のお知らせについて  
協力することが承認された。
2. 4/26(日) (東京) 日医連医政活動研究会の開催について  
河野委員長と吉田常任執行委員が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 3/20(金) (JAアズム) 自民党県連 総務・支部長合同会議について

# 県 医 の 動 き

(4月)

1	産業保健総合支援センター辞令交付式（会長） 辞令交付式（会長）
3	高木兼寛公顕彰演劇宮崎公演（会長）
4	（沖縄）男女共同参画フォーラム（金丸副会長他）
7	九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せ（会長他） 第1回常任理事協議会（会長他）
8	全国有床診療所協議会理事会（Web会議）（会長）
9	（日医）日医医業経営検討委員会（吉田常任理事） 県産婦人科医会・県産科婦人科学会合同打合せ会 （Web会議）（嶋本常任理事他）
10	医家芸術展世話人会（小牧副会長他）
11	（福岡）九医連常任委員会（会長）
14	日医有床診療所委員会（Web会議）（会長） 第1回全理事協議会（Web会議）（会長他）
15	（日医）都道府県医師会新たな地域医療構想に関する担当理事連絡協議会（Web会議） （金丸副会長他） 支払基金審査運営協議会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）
16	県産婦人科医会会計監査
17	県外科医会理事・評議員会（田畑理事）
18	日医シンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦”」（Web会議）（金丸副会長他）
19	（日医）日医学校保健講習会（高木常任理事）

20	広報委員会（荒木常任理事他）
21	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 （玉置常任理事） 組織強化・将来構想委員会小委員会 （小牧副会長他）
22	労災診療指導委員会・労災部会理事会 （赤須常任理事他） 保育支援事業打合せ会（荒木常任理事）
23	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 県保健医療福祉調整本部会議（金丸副会長他） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
24	日医医療安全対策委員会（Web）（市来常任理事） 県内科医会理事会（玉置常任理事他）
25	県臨床研修医説明会・講演会（金丸副会長他） 新研修医祝賀会（会長他） 県産婦人科医会・県産科婦人科学会春期定時総会・学術講演会（Web会議） （日医）日医未来医師会ビジョン委員会 （大塚常任理事）
26	（東京）日医連医政活動研究会（河野委員長他）
27	県大規模地震時医療活動訓練キックオフ会議 （落合常任理事）
28	地域医療構想データ分析チームミーティング （Web会議）（金丸副会長） 医師協理事会（河野理事長他） 医師協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第2回全理事協議会（会長他）
30	病院部会・医療法人部会合同理事会（Web会議） （池井常任理事他）

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年4月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 15人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	3	1	2
外科	1	1	0
整形外科	1	1	0
精神科	2	1	1
脳神経外科	1	0	1
消化器内科	2	0	2
放射線科	1	0	1
神経内科	1	0	1
総合診療科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
老健	1	0	1

## 2. 斡旋成立件数 110人

	合計
令和8年度(4/1)	0
平成16年度から累計	110

## 3. 求人登録 101件 287人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	83	64	19	消化器外科	6	3	3
外科	20	18	2	乳腺外科	2	2	0
整形外科	20	17	3	健診	2	2	0
精神科	14	12	2	泌尿器科	4	3	1
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検診	0	0	0
消化器内科	20	16	4	皮膚科	0	0	0
麻酔科	7	6	1	婦人科	0	0	0
眼科	10	6	4	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	10	10	0	人工透析	12	8	4
小児科	3	2	1	リウマチ科	2	1	1
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	4	3	1	形成外科	0	0	0
総合診療科・内科	12	9	3	診療科目不問	9	5	4
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	5	3	2	その他	5	3	2
救命救急科	7	5	2	合計	287	224	63

## 求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラムやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	14	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整(いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230248	社医)耕和会 介護老人保健施設あおしまのいえ	宮崎市	不問	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230181	医) 社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内,放	4	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内,外,放	4	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年4月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 函師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊 江崎医院跡
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり(16台)	所有者: 日向市東白杵郡医師会員 吉田クリニック
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり(6台) 別途, 賃貸の駐車場(22台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 青翠会 山本医院
2. 賃貸物件又は譲渡物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり(3台) 別に隣接病院駐車場あり(応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階(グループホームやすらぎ)	所有者: 都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 滝口内科 (旧)のぞみ医院跡
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり(20台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 平部整形外科医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyou@miyazaki.med.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年4月24日

5		月					
1	金			20	水	13：00 大規模地震時医療活動訓練に係る第1回調整会議	↓
2	土					15：00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (Web会議)	
3	日		(憲法記念日)			19：00 広報委員会	
4	月		(みどりの日)	21	木	13：00 日医医療安全対策委員会	↑
5	火		(こどもの日)			18：00 県認知症疾患医療センター合同会議 県医監事監査 医師協監査	
6	水		(振替休日)				
7	木			22	金	13：00 全国医師会産業医部会連絡協議会	
8	金	13：00	日医財務委員会 (Web会議)	23	土	15：00 (福岡)九医連常任委員・次期会長合同会議	↑
9	土					16：10 (福岡)九医連常任委員・次期日医代議員協議会	
10	日					17：40 (福岡)九プロ日医代議員(含・次期)連絡会議	
11	月	19：00	県内科医会評議員会	24	日	11：00 (福岡)レジナビフェア福岡	社 保 審 査
		19：00	産業医部会理事会 (Web会議)	25	月		
12	火	18：30	医師協理事会	26	火	14：00 県保険者協議会	↓
		19：00	第2回常任理事協議会			18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
13	水	16：00	支払基金審査運営協議会			18：30 医師協理事会 (Web会議)	
14	木	19：00	広報委員会			19：00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議)	
		19：00	県産婦人科医会常任理事会			終了後 第4回全理事協議会 (Web会議)	
15	金			27	水	15：00 労災診療指導委員会・労災部会理事会	
16	土	14：30	産業医部会総会・研修会 (TV会議)	28	木	14：00 (日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 (Web会議)	↑
		15：30	県内科医会総会・学術講演会			14：30 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会	
		19：00	三師会会長会			18：00 県医療審議会及び医療介護推進協議会	
17	日	12：15	県小児科医会役員会	29	金	19：00 県内科医会誌編集委員会	↑
		13：30	県小児科医会総会・春季学術講演会			19：00 県有床診療所協議会役員会 (Web会議)	
18	月	18：00	県医療審議会医療計画等部会			19：00 病院部会・医療法人部会 共同購入・共同事業に関する説明会	
		19：00	在宅医療研修企画小委員会 (Web会議)			8：15 (京都)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	
19	火	18：30	第1回理事会	30	土		↑
		終了後	第3回全理事協議会				
		19：00	県医臨時代議員会	31	日	8：15 (京都)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	

※都合により、変更になることがあります。  
 行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年4月24日

6		月						
1	月	19:00	県糖尿病対策推進会議小幹事会					
2	火	14:30	県学校保健会理事・評議員会	17	水	13:30	宮大経営協議会及び学長選考・監察会議	
		15:30	学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育庁表彰審査会	18	木	19:30	全国有床診療所協議会理事会 (Web会議)	
		19:00 終了後	第2回理事会 (会長他) 第5回全理事協議会 (会長他)	19	金			
3	水	15:00	日医救急災害医療対策委員会 (Web会議)	20	土	15:00	医師協通常総代会	↑ 国 保 審 査 ↓
4	木	19:00	学校医部会理事・評議員会 (Web会議)			15:45	医師協理事会	
5	金	19:00	認知症サポート医・かかりつけスキルアップ研修会	16:00	県医定例代議員会			
6	土			16:35	第3回理事会			
7	日			17:00	県医臨時代議員会			
8	月			17:30	県医連執行委員会			
9	火	14:00	県健康づくり協会理事会	21	日	11:00	(東京)レジナビフェア東京	
10	水			22	月	19:00	広報委員会	
11	木	15:00 15:00 18:30 19:00	(広島)全国国保組合協会通常総会 日医医療安全対策委員会 県アイバンク協会理事会 県産婦人科医会常任理事会	23	火	10:00	県社会福祉協議会評議員会	
12	金	17:00	宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会	24	水	15:00	労災診療指導委員会・労災部会理事会	
13	土			25	木	18:00 19:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 医師国保組合定例事務監査	
14	日			26	金		(東京)九プロ(次期)日医代議員連絡会議	
15	月	19:00	広報委員会	27	土	9:00 9:30 16:00	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会 (日医)九プロ日医代議員連絡会議 (日医)日医定例代議員会 県専門研修プログラム合同説明会	
16	火	19:00	第3回常任理事協議会	28	日	9:00 9:30	(日医)九プロ日医代議員連絡会議 (日医)日医臨時代議員会	
				29	月	19:00	在宅医療協議会役員会 (Web会議)	
				30	火	14:00 18:30 19:00 終了後	県健康づくり協会評議員会 医師協理事会 (Web会議) 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議) 第6回全理事協議会 (Web会議)	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。



詳細および最新情報はこちら

### 宮崎県医師会産業医研修会

5月13日(水) 19:00～21:00 [現地]

宮崎県医師会館

「エイジフレンドリーガイドラインから法律に基づく『高齢者の労働災害防止のための指針』へ」

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0 (2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

### 宮崎市郡内科医会学術講演

5月14日(木) 19:00～20:00 [現地・Web]

アートホテル宮崎スカイタワー

「膠原病と間質性肺炎～膠原病を見つけるコツ～」

宮崎市郡医師会病院 内科医長 川口 剛

「間質性肺疾患 ～早期発見・紹介のポイントと最近の話題～」

宮崎大学医学部 内科学講座

呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野病院  
准教授 柳 重久

主催：宮崎市郡内科医会

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：45 (1.0)

### 第205回宮崎心臓病研究会

5月14日(木) 19:00～20:00 [現地・Web]

KITENビル

「4つの視点で考える心不全治療：ARNIへの期待」

済生会福岡総合病院 循環器内科 副院長

久保田 徹

主催：宮崎心臓病研究会

共催：ノバルティスファーマ(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：74 (1.0)

### 都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会

5月14日(木) 19:00～20:00 [現地・Web]

都城ロイヤルホテル

「ジェネラリストからみた認知症BPSDの治療戦略」

医療法人博光会 御幸病院 院長 西上 和宏

主催：都城市北諸県郡内科医会

共催：大塚製薬(株)

連絡先：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

CC(単位)：80 (1.0)

**宮崎県内科医会総会・学術講演**

5月16日(土) 15:30~18:05 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

## 「保険診療における注意点～血液疾患領域について～」

宮崎県立宮崎病院 副院長 山下 清

## 「関節リウマチの診断と最新治療」

宮崎善仁会病院 リウマチセンター センター長  
日高 利彦「肥満症治療は“統合的アプローチ”の時代へー  
長期予後を見据えた治療戦略とセマグルチドの  
位置づけ」岡山大学 学術研究院医療開発領域  
腎臓・糖尿病・内分泌内科 講師

中司 敦子

主催：宮崎県内科医会 ☎0985-22-5118

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

CC(単位)：9 (0.5), 61 (0.5), 23 (1.0)

**宮崎市内科医会総会講演会**

5月19日(火) 19:00~20:30 [現地]

宮崎観光ホテル

「最新の心不全診療ガイドラインについて～医師  
会病院での循環器診療～」

宮崎市郡医師会病院 副院長 柴田 剛徳

主催：宮崎市郡内科医会

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：0 (1.0)

**かかりつけ医のための予防接種セミナー**

## ～ HPVワクチンの最新知見と戦略 ～

5月20日(水) 19:00~20:00 [Web]

「HPVワクチンとプレコンセプションケア～日本  
の性教育と男子と14歳～」埼玉医科大学 医療人育成支援センター  
地域医学推進センター 産婦人科 助教

高橋 幸子

「HPV関連疾患のEliminationに向けて～宮崎県  
における疾患啓発の取り組み～」

宮崎県立看護大学 専門基礎分野 教授

川越 靖之

主催：宮崎県小児科医会, 宮崎県産婦人科医会

共催：MSD(株) ☎0985-28-9496

CC(単位)：11 (1.0)

**しのもめ医学会特別講演会**

5月20日(水) 19:00~20:00 [現地・Web]

宮崎市郡医師会館

## 「精神医学分野(仮)」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座

精神医学分野 教授 平野 羊嗣

主催：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：68 (1.0)

**西都市西児湯医師会学術講演会**

5月22日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

西都市西児湯医師会館

「冠動脈疾患の脂質管理アップデート いつ初め、  
どこまで下げるべきか？」

宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長

西平 賢作

主催：西都市西児湯内科医会

共催：西都市西児湯医師会, 大塚製薬(株)

連絡先：西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687

CC(単位)：75 (1.0)

**南那珂医師会生涯教育医学会**

5月22日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

南那珂医師会館

## 「ロケルマ登場後の高カリウム血症治療」

(福) 恩賜財団済生会支部 大阪府済生会

中津病院 部長 血液浄化療法センター

嶋津 啓二

主催：南那珂医師会 ☎0987-23-3411

共催：アストラゼネカ(株)

CC(単位)：73 (1.0)

## 令和8年度宮崎市郡在宅医会特別講演

5月23日(土) 15:30~17:00 [現地・Web]

ニューウェルシティ宮崎

「在宅医療をどう進化させるか ~2026年改定と10年先を見据えた在宅医の経営・DX・地域戦略, そして在宅緩和ケアの現場から~」

楠本内科医院 院長 楠本 拓生

主催: 宮崎市郡在宅医会

連絡先: 宮崎市郡医師会地域包括ケア推進センター

☎0985-77-9106

CC(単位): 12(1.5)

## 宮崎市郡外科医会総会講演会

5月25日(月) 19:00~20:30 [現地]

宮崎観光ホテル

「食道疾患に対する外科治療~食道癌に対する低侵襲手術から緊急・救急症例に対する治療まで~」

宮崎大学医学部 外科学講座

消化管・内分泌・小児外科 病院教授

武野 慎祐

主催: 宮崎市郡外科医会

連絡先: 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位): 53(1.0)

## 日向市東臼杵郡医師会学術講演会

5月26日(火) 19:00~20:00 [現地・Web]

ホテルベルフォート日向

「GLP-1による2型糖尿病治療強化の意義~セマグルチドのエビデンスから考える~」

自治医科大学附属さいたま医療センター

内分泌代謝科 准教授 山田 穂高

主催: 日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

日向市東臼杵郡医師会内科医会

共催: ノボノルディスクファーマ(株)

CC(単位): 76(1.0)

## 宮崎県医師会産業医研修会

5月27日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

「エイジフレンドリーガイドラインから法律に基づく『高齢者の労働災害防止のための指針』へ」

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催: 宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催: 宮崎県医師会

CC(単位): 0(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

## 宮崎市郡産婦人科医会6月例会学術講演会

6月5日(金) 18:50~20:30 [現地・Web]

宮崎市郡医師会館

「当科で行っている子宮筋腫手術について」

宮崎善仁会病院 婦人科 部長 米田由香里

「子宮筋腫に伴う諸症状に寄り添うGnRHアナログの役割とこれから」

福島県立医科大学

ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授

小川真里子

主催: 宮崎市郡産婦人科医会

共催: キッセイ薬品工業(株)

連絡先: 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位): 0(1.0), 65(0.5)

**第61回児湯内科医会学術講演会**

6月8日(月) 18:30~19:30 [現地・Web]

児湯医師会館

**「肝炎ウイルス陽性者に対する通知システムの導入結果と今後の課題」**

医療法人誠和会 和田病院 臨床検査科

山元 明日香

**「ウイルス性肝炎治療の最新治療について」**

宮崎大学医学部 内科学講座

消化器内科学分野 助教 大園 芳範

主催：児湯内科医会

共催：ギリアド・サイエンシズ(株)

連絡先：児湯医師会 ☎0983-22-1641

CC(単位)：73(1.0)

**第206回宮崎心臓病研究会**

6月9日(火) 18:50~20:00 [現地・Web]

アートホテル宮崎 スカイタワー

**「CKM(心腎代謝)症候群の治療戦略~アルブミン尿早期発見の意義を考える~」**

群馬大学医学部附属病院 内科学講座

循環器内科学 教授 石井 秀樹, 他  
他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：バイエル薬品(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：45(1.0)

**宮崎県医師会産業医研修会**

6月10日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「産業医が行うリスクマネジメントとしての暑熱環境対策」**

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**肥満症と心血管リスクについて考える会**

6月11日(木) 19:00~20:10 [現地・Web]

KITENビル

**「肥満症介入の意義~循環器内科の視点と臨床研究の取り組み~」**

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野循環器グループ 助教  
山本 紗子**「肥満症と循環器疾患を考える」**

浦添総合病院 循環器内科 カテーテル治療

副部長 中田 円仁

主催：肥満症と心血管リスクについて考える会

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

☎080-9687-8822

後援：宮崎県医師会

CC(単位)：73(1.0)

**第92回宮崎整形外科懇話会**

6月20日(土) 15:00~18:30 [現地]

宮崎市民プラザ

**「リウマチ足部再建の意義を再考する」**

日本医科大学 整形外科学教室 教授 平尾 眞

主催：宮崎大学医学部整形外科学教室

☎0985-85-0986

共催：宮崎県整形外科医会

旭化成セラピューティクス(株)

CC(単位)：61(1.0)

**宮崎県医師会産業医研修会**

6月24日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

**「産業医が行うリスクマネジメントとしての暑熱環境対策」**

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

#### 宮崎県医師会産業医研修会

6月25日(木) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

#### 「職場環境測定結果を正しく理解するために」

産業保健相談員

宮崎大学国際連携機構・国際連携センター

客員教授 黒田 嘉紀

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

#### 第19回九州心不全診断フォーラム

6月27日(土) 18:00~20:00 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

#### 「循環器予防の重要性～長崎県の取り組みと、心不全予防ステートメントの紹介～」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

循環器内科学 教授 前村 浩二, 他

他演題あり

#### 「心不全予防におけるバイオマーカーの新たな意義」

東北大学大学院 循環器内科学 教授 安田 聡

主催：九州心不全診断フォーラム

共催：ノバルティスファーマ(株)

連絡先：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

☎090-7270-4047

CC(単位)：73(1.0)

#### 宮崎県医師会産業医研修会

7月8日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

#### 「早期離職を防ぐ新人研修担当者・中間管理職に対する研修のポイント」

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：10(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

#### 認知症治療に携わる医療従事者のための在宅医療 Web Seminar

7月9日(木) 19:00~20:10 [Web]

#### 「精神科医の目線から見たBPSD対応について(仮)」

(一財)弘潤会 野崎病院 倉増 亜紀

#### 「かかりつけ医・認知症サポート医のBPSD対応について(仮)」

田口同仁クリニック 院長 田口 雅一

主催：宮崎市郡在宅医会

共催：大塚製薬(株) ☎080-6717-1304

CC(単位)：29(1.0)

#### 宮崎県医師会産業医研修会

7月15日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

#### 「労災保険制度の概要と業務上疾病の認定基準について」

宮崎労働局 労災補償課長 若本 正宏

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

#### 宮崎県医師会産業医研修会

7月16日(木) 19:00~21:00 [現地]

延岡市医師会病院

#### 「労働衛生関係法令」

宮崎産業保健総合支援センター

副所長 地福 竹志

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：0(2.0)

生涯研修の更新研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月22日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度」**

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」**

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント

田中 伸明

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月22日(水) 19:00~21:00 [現地]

日南市テクノセンター

**「早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する  
研修のポイント」**

産業保健相談員 産業医 江藤 敏治

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：10(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月29日(水) 14:00~16:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「職場でみられるうつ病とその対応」**

産業保健相談員 精神科専門医・指導医

直野 慶子

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：70(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月29日(水) 19:00~21:00 [現地]

宮崎県医師会館

**「事業場のゲートキーパー活動を支援するために」**

産業保健相談員

人財科学研究所 代表 工藤 智徳

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：11(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

**宮崎県医師会産業医研修会**

7月31日(金) 19:00~21:00 [現地]

都城市北諸県郡医師会館

**「産業医の職務と事業者の安全配慮義務」**

産業保健相談員 労働衛生コンサルタント

田中 伸明

主催：宮崎産業保健総合支援センター

☎0985-62-2511

共催：宮崎県医師会

CC(単位)：6(2.0)

生涯研修の専門研修会2単位

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /  
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員の皆様へ

# 日医ペイハラ・ ネット相談窓口 を開設しました!

ご相談は  
こちらから!



## 日本医師会患者ハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口

昨今、インターネット上(Google Map等の口コミやSNS等)で悪質な書き込み被害が増加しており、対応に苦慮している先生方や医療機関も多くあることと存じます。2024年10月に会員向けに実施したアンケート調査では、総回答数4,730のうち、Google Mapやその他の医療機関検索サイト、SNS等でご自身の医療機関に対する誹謗中傷等の書き込みをされた医療機関が約8割という結果でした。このような状況を踏まえ、SNS等の誹謗中傷に関する書き込みをはじめ、医療機関内での患者ハラスメント全般に関する相談窓口を創設いたしました。

相談料無料・  
回数制限なし

このような場合にご相談いただけます!



事例1

医療上の指示・指導などの受け入れを拒否され、怒鳴られるなど暴言を受けた。



事例2

インターネットやSNSで誹謗中傷・脅迫をされた。

お気軽にご相談ください!

制度対象者

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /  
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員

相談内容

インターネット上での悪質な書き込みを含む患者ハラスメント全般

相談受付方法

WEBフォーム・電話

- ご相談に際しては会員確認をさせていただきます。会員本人以外からのご相談の場合(会員が開設・管理している医療機関の医療従事者等の場合は、勤務先の医療機関の開設者または管理者が会員であることを事前にご確認いただくようお願いいたします。
- 無料で回数制限等なくご相談いただけます。

WEB  
フォーム

<https://forms.gle/GgKkT837gCyfiVgL6>

※受付の当日または翌営業日以降に相談窓口より電話またはメールにてご連絡いたします。  
お問い合わせの対応状況により、数日お時間を頂戴する可能性があります。



電話

**0120-830-870**

電話受付時間:平日9時~18時

※ネット上の誹謗中傷等の書き込みの場合は、該当箇所を確認するため、WEB  
フォームにて関連のURL等をご記載ください。

このご案内は概要の説明となります。詳しい内容については下記をご確認ください。

(日医ペイハラ・ネット相談窓口の詳細について)

日本医師会ホームページおよびメンバーズルーム  
をご覧ください。

[https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota\\_etc/011988.html](https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html)



(日医ペイハラ・ネット相談窓口全般に関するお問い合わせ先)

日本医師会情報システム課

TEL: 03-3942-6135 FAX: 03-3946-6295

MAIL: [josys@po.med.or.jp](mailto:josys@po.med.or.jp)

## 診療メモ



## 成人先天性心疾患（ACHD） — 専門医および非専門医の先生方へ

宮崎市 宮崎大学医学部 小児科 児 玉 祥 彦

### ● はじめに

手術手技や周術期管理の進歩により、先天性心疾患（CHD<sup>\*1</sup>）患者の90%以上は成人期を迎えられる時代となりました。かつて「小児科の病気」と認識されていたCHDですが、現在、先進国のCHD患者の半数以上は成人患者です。かつては「救命」が最大の命題であった先天性心疾患の領域ですが、今や「救命された後の人生をいかにフォローしていくか」という慢性期医療の分野にも足を踏み入れています。本稿では、成人CHD（ACHD<sup>\*2</sup>）の問題点と、宮崎大学での診療状況について概説いたします。

### ● 「完治」ではなく「修復状態」

まず共有したいのは、外科的介入が終了した症例であっても、その多くは「完治」ではなく「修復状態」にあるという点です。ACHD患者さんは、遠隔期に心不全、不整脈、あるいは心疾患に関連する他臓器障害など、多様な合併症リスクが存在します。ほとんどの疾患において、ACHD患者さんでは生涯にわたる経過観察が推奨されています。

ここで大きな課題となるのが、診療科のバトンタッチ、いわゆる「移行」の問題です。成人期を迎えた患者さんは、心疾患だけでなく、加齢に伴う、一般的な成人の健康リスクを併せ持つこととなります。小児科医が生涯にわたって

管理することには限界もあり、また成人領域で劇的に進歩している循環器治療の恩恵を受けていただくためにも、どこかの段階で、成人循環器内科の先生方をお願いしたいと思っています。日本成人先天性心疾患学会も、最近では循環器内科の先生方が主導的な役割を果たされるようになり、ACHDは循環器内科のサブスペシャリティの一つになりつつあります。小児循環器医として寂しい思いがないわけではありませんが、患者さんの環境としては理想的で、心強い思いです。

管理の移行に際しては、単なる「転科(Transfer)」ではなく「移行期医療(Transition)」を心がける必要があります。患者自身が自分の疾患や将来のリスク（不整脈や感染性心内膜炎、妊娠・出産など）を認識し、少なくとも自分で疾患名を述べられる程度には教育しておきたいものです。一定期間の併診も一つのやり方とされています。ポスト救命時代の小児循環器医は、移行期医療のアレンジもその役割の一つです。

### ● 一番多い疾患—VSDとASD（未手術または修復済）

疾患の種類が多く、重症度にも幅のあるACHDですが、一番多い疾患は心室中隔欠損（VSD<sup>\*3</sup>）と心房中隔欠損（ASD<sup>\*4</sup>）といった単純シャント性疾患です。小児期に手術済みの患者さんも

いらっしゃいますが、未手術の患者さんもいます。未手術症例の多くは、小児期に手術適応なしと判断された患者さんですが、手術適応なしと判断された患者でも定期的なフォローは必要です。また未手術VSDでは感染性心内膜炎(IE<sup>\*5</sup>)予防のため、歯科治療時の抗菌薬内服も指導する必要があります(ASD単独では一般的に不要です)。術後症例では、ほとんどの場合にIE予防の抗菌薬も不要です。術後のフォローの必要性が相対的に低いと考えられる症例もありますが、ガイドライン上は引き続き定期的な経過観察が推奨されています。未手術および術後のいずれであっても、基本的には運動制限等は不要で、経過観察が管理の主体です。

#### ● 宮崎大学における多職種協働

宮崎大学小児科では、安定したACHD患者さんは、循環器内科外来を紹介するようにしています。特に複雑型心疾患の患者を紹介する際は、循環器内科、小児科、心臓血管外科、産婦人科が合同で開催する「ACHDカンファレンス」にて事前検討を行っています(当院は成人先天性心疾患学会の専門医修練施設でもあります)。循環器内科や産婦人科の視点から、投薬に関するご意見をいただいたり、他院から循環器内科に紹介になった複雑型心奇形患者さんの血行動態について、私たち小児科側から助言したりすることもあり、カンファレンスは双方向の盛り上がりを見せます。産婦人科の桂木教授はACHD学会の理事でもいらっしゃいますので、私たちの貴重なアドバイザーです。循環器内科の先生方は、海北教授以下、皆さま熱心にACHD症例に取り組んでくださいます。基礎疾患のある症例は、循環器内科の先生方に敬遠されるという他県の話を目にするもありますが、昨年、私が担当していたダウン症の房室中隔欠損症の20代女性に再手術が必要になった際などは、このカンファレンスで循環器内科の先

生方に状況をご説明し、術前検査を受け入れていただきました(鎮静下にカテーテル検査を行っていただきました)。そのまま循環器内科から心臓血管外科の古川教授へ円滑に引き継がれ、良好な手術結果が得られました。小児科の立場として、大変ありがたい環境です。

#### ● 地域の先生方へのお願い

循環器をご専門とされていない先生方におかれましては、日常診療の中でACHD患者さんに出会われた際に、定期的なフォローがなされているか、ご確認いただき、必要に応じて専門医をご紹介いただけると幸いです。

循環器内科を専門とされている先生方におかれましては、VSDやASDなどの単純疾患に出会われた際、術後症例や未手術の小欠損症例でも、1~3年に一度、定期的な経過観察を願うことができますと幸いです。一方で、大きなシャントが残っている症例や、フォロー四徴症以上の複雑心奇形症例に出会われた際は、遠慮なく当院循環器内科をはじめとした成人先天性心疾患の専門診療チームへご紹介ください。

#### ● おわりに

ACHDは疾患の種類が多く、この紙幅で語り尽くせないほど病態が多様なのですが、まずはACHD患者さんに出会う機会が増えているということ、必要に応じて私たち成人先天性心疾患の専門診療チームをご利用いただきたいということを申し上げたいと思います。ACHD診療におきまして、諸先生方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

\* 1 Congenital Heart Disease

\* 2 Adult Congenital Heart Disease

\* 3 Ventricular Septal Defect

\* 4 Atrial Septal Defect

\* 5 Infective Endocarditis

## 宮大医学部学生のページ

宮崎大学医学部附属病院の木曜休診、  
土曜診療について

宮崎大学医学部 医学科5年 野間貫太

お世話になっております。学生委員の野間です。今年の4月から始まった宮崎大学医学部附属病院の木曜休診、土曜診療について、病院長の賀本先生に取材をさせていただく機会がありましたので学生の立場からまとめさせていただきます。

## 【木曜休診、土曜診療の導入の背景】

## 1. 医師の働き方改革に向けて

2024年から医師の働き方改革が本格化し、勤務間でインターバル（9時間）を設けることや連続勤務時間の制限（最大28時間）が求められましたが、タスクシフトや主治医をチーム制にするなどによりそれらの解決を図りました。

しかし、実際には連続時間勤務の回避は非常に難しく、最後まで課題として残りました。予定手術や患者の急変対応があるため、月曜から

金曜まで5日間連続で稼働するシフトでは、どうしても限界がありました。その解決のヒントになったのが、厚労省の資料にあった「木曜休み」という案でした。週の半ばに休日を挟むことで、連続稼働をなくすことができたそうです。

## 2. 土曜診療の再始動

2019年にも診療日変更のワーキンググループを作りましたが、医師からは「土曜出勤への抵抗」や「連休が欲しい」という反対意見が多かったようです。一方、24時間体制を支える病棟看護師には元々連休がほぼありませんでした。

しかし昨年度、人件費の高騰と診療報酬の据え置きにより、全国の大学病院の多くが赤字に転落し、宮崎大学医学部附属病院も6億円の赤字予測が出ました。そこで、かつてシミュレーションで「土曜に入院を受け入れれば稼働率が

## ◆ 勤務間インターバルの基本ルール ◆

## ① 始業から24時間以内に9時間の継続した休息時間（15時間の連続勤務時間制限）

※通常の日勤の場合

※宿日直許可のある宿日直に従事する場合

（24時間以内に9時間以上の宿日直許可のある宿日直に従事する場合、インターバルが確保されているとみなされる）

## ② 始業から46時間以内に18時間の継続した休息時間（28時間の連続勤務時間制限）

※宿日直許可のない宿日直に従事する場合

確実に1%上がり、収益改善が見込める」と分かっていた土曜診療案が、経営改善策としてトップの決断により再始動することになりました。

### 3. 変形労働時間制の導入

今回の診療日の変更は、単に平日と土曜を入れ替えるのではなく、学生の教育スケジュールを変えず、診療体制のみが以下のような工夫をして変わっています。

- 1) 土曜診療の制限：紹介患者のみを受け入れて、再診は行わず、手術室は半数稼働に限定することで少ないスタッフで回る体制にしています。
- 2) 変形労働時間制：忙しい平日では例えば月・火・水・金に1日10時間働き、4日間で週40時間を満たすなどの柔軟なシフトを採用しています。
- 3) 時間外労働の削減：手術や外来のない「空き時間」に病院にいることを無くし、患者がいる時に集中して働くことで、医師の実態に合った働き方にしました。
- 4) 収益低下の防止：「ハッピーマンデー（年9回）」による平日の稼働率の低下を、土曜診療で解決する見込みです。

### 4. 賀本先生の信念

「全員がカレンダー通りに休む」という発想は、一般企業のサラリーマンのものであると賀本先生は仰っていました。医療は水道や電気と同じ「社会インフラ」であり、患者さんがそこにいるからこそ仕事が発生し、世間が休んでいる時に働く人がいてこそ成り立つシステムだからだそうです。

長年医療現場の矛盾やどうしようもない現実を体感してきたからこそ、映画『Fukushima 50』の原発作業員のように、インフラを守るためには誰かが役割を担わなければならない、危機に際して現場を支える覚悟が必要だと賀本先生はおっしゃいます。批判が多いことは承知のうえですが、今回の変形労働と土曜診療がこれからの厳しい医療現場では必要なことだという心強いお言葉をいただきました。

### 【学生の立場からの意見】

#### 宮崎大学医学部 医学科5年 安丸 佳苗

賀本病院長、このたびはお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。学生の立場から見ると、木曜日が休診となることで実習にも一定の影響が出ています。現在、臨床クラークシップIでは木曜日実習は各診療科に委ねられており、レポート作成に充てられたり、学外の医療機関で実習を行ったりと、その内容はさまざまです。今まで以上に外病院での実習が増えることは、さまざまな病院のやり方を見比べることができたり、規模の違う病院ならではのより実践的な実習を経験できたりと、新鮮な学びが多いです。その一方で、朝早くに遠方の病院に集合するとなると大学病院に行くよりも家を出る時間が数十分早くなったり、距離が伸びる分ガソリン代もかかったりと負担に感じてしまう側面があることも事実です。また、クリクラIでは1週間で終わってしまう診療科も多く、大学病院に通うのが5日から4日になるのは1日分の違いとはいえ、大きな違いに感じます。

こうした変化を実際に経験する中で、病院経営の難しさを強く感じました。一方で、医療を「社会インフラ」としてとらえるという考え方には大きな感銘を受けました。

医療者を志す者として、このような視点を持つことは非常に重要であると感じています。長期的にはこの変化がどのような影響をもたらすのか、医学生として体感するのはとても貴重なことだと思うので、目の前の医学知識だけではなく、診療報酬や病院経営など、医療と社会のつながりにも目を向ける機会にしていこうと思いました。

そして今回の診療体制の変更を単なる診療日の変更としてとらえるのではなく、自身の将来の働き方を考えるうえでも注目していきたいと思っています。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
4月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度新興感染症対応力強化事業（協定締結医療機関設備整備事業）に係る事前調査について</li> <li>・令和8年度診療報酬改定に係る告示、通知のご案内について（3月27日付け）</li> <li>・外来医師過多区域に係る候補区域の公表及び医療法関係政令及び省令の改正について</li> <li>・医療法施行令等の一部を改正する政令及び医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の公布について</li> <li>・医療法施行令改正に伴う廃棄物処理法施行令の改正及び「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改訂について</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構による経営資本強化資金（資本性劣後ローン）の実施について</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・小児医療及び周産期医療の提供体制等について（情報提供）</li> <li>・令和7年度医療機関等における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査結果報告書及び「望まれる方向」の公表について（周知依頼）</li> <li>・「黄熱予防接種の実施体制について」並びに「黄熱の予防接種実施機関の指定について」</li> <li>・HPVワクチンに関するリーフレットの改訂等について</li> <li>・みやざきオレンジドクターの登録について（通知）</li> <li>・再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づき再生医療等を提供するにあたり医療機関が留意すべき事項について（通知）</li> <li>・令和8年度労災診療費算定基準の一部改定について</li> <li>・民法等の一部を改正する法律（父母の離婚後等の子の養育に関する見直し）の施行について（通知）</li> <li>・「臍帯血プライベートバンクを利用する再生医療等提供計画の添付書類に関して」の一部改正について（通知）</li> <li>・「介護老人保健施設入所者に係る往診及び通院（対診）について」の一部改正について</li> </ul>
4月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東情勢を踏まえた医療機器等の安定供給に関する協力依頼（周知）</li> <li>・麻しん及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種勧奨並びに麻しん及び風しんの任意接種に関する案内等について（依頼）</li> <li>・医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の施行（医師少数区域等関係）等について</li> <li>・地域医療支援病院の承認手続等に関する疑義照会について</li> <li>・「オンライン診療の適切な実施に関する指針」及び「『オンライン診療の適切な実施に関する指針』に関するQ&amp;A」の改訂について</li> <li>・疑義解釈資料の送付について（その2）</li> <li>・長期収載品の処方等又は調剤に係る選定療養の対象医薬品について</li> <li>・医薬品安定供給・流通確認システムの稼働開始について</li> </ul>

送付日	文 書 名
4月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産後ケア事業における安全管理の推進について（依頼）</li> <li>・アピランスケアに係る体制整備について</li> <li>・世界腎臓デー普及啓発資材の周知・活用について</li> <li>・「小規模事業場ストレスチェック制度実施マニュアル」の周知について</li> <li>・「外来医師過多区域に関する質疑応答集（Q&amp;A）」について（その1）</li> <li>・小児・AYA世代のがん患者向けの「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」に関するリーフレットの周知・活用について</li> <li>・「保健所等におけるエムボックス検査のガイドライン」の周知について並びに「エムボックス診療の手引き第4.0版」の周知について</li> <li>・令和8年度「在宅医療の効率化のためのデジタル化及びICT導入促進に係るモデル事業」モデル地区の募集及び説明会の開催について（追加情報）</li> <li>・公益社団法人日本医師会・公益社団法人日本獣医師会・厚生労働省による連携シンポジウム「ワンヘルスのいろいろなカタチ」の開催について</li> <li>・予防接種法施行令の一部を改正する政令等の施行について</li> <li>・「定期の予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について</li> <li>・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について</li> <li>・母子保健法施行規則の一部を改正する内閣府令の交付について（周知依頼）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令の公布について</li> <li>・「医療機関において調剤されるPET検査薬等の取扱いについて」の一部改正及び「関係学会等が作成するガイドライン」の作成について</li> </ul>
4月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度日本医師会会費徴収について</li> <li>・日本医師会会費減免の手続き及び会費減免を受けるA①, A②(B), A②(C) 会員の医療賠償保険加入の手続きについて</li> <li>・現下の中東情勢を踏まえた医療機関等における医療機器及び医療物資等の供給状況に関する情報提供へのご協力依頼</li> <li>・「治療と就業の両立支援指針」の周知について</li> <li>・治療と就業の両立支援に関する診療報酬の改定について</li> <li>・重点医師偏在対策支援区域で承継・開業する診療所に係る税制措置（登録免許税・不動産取得税）の適用について</li> <li>・地域医療構想実現に向けた税制措置（再編計画に係る登録免許税・不動産取得税の軽減措置）の延長について</li> <li>・病院等における医療の安全を確保するための措置について</li> <li>・「事業主が職場における顧客等の言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」の告示について（情報提供）</li> <li>・第10期介護保険事業（支援）計画の策定に向けた事前準備に関する留意事項について（情報提供）</li> <li>・令和8年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について</li> <li>・日本医学会「第39回日本医学会公開フォーラム」ご案内の送付について</li> <li>・吸入ステロイド薬・pMDI 製剤の供給不足に伴うドライパウダー製剤（DPI）使用のお願い</li> <li>・「令和8年度における林業の安全衛生対策の推進に係る留意事項」の周知について</li> <li>・8020啓発資料について</li> <li>・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第84回報告書の公表について</li> </ul>

送付日	文 書 名
4月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究用と称する検査キット等の体外診断用医薬品の範囲に関するガイドラインについて</li> <li>・「航空機乗務員の宇宙放射線被ばく管理に関するガイドライン」の周知について</li> <li>・「エムボックス診療の手引き第4.0版」の周知について</li> <li>・「保健所等におけるエムボックス検査のガイドラインの周知について」の一部訂正について</li> <li>・医療法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う留意事項等について</li> <li>・「医師法施行規則及び歯科医師法施行規則の一部を改正する省令」について（通知）（美容医療関係）</li> <li>・全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律等の施行について（通知）</li> <li>・指定難病の診断基準及び重症度分類等の改正について</li> <li>・労働安全衛生法施行令および労働安全衛生法関係手数料令の一部を改正する政令等（個人事業者等関係）の施行の周知について</li> <li>・移植に用いる臍帯血の品質の確保のための基準に関する省令の運用に関する指針（ガイドライン）の一部改正について</li> <li>・「ヒトES細胞の使用に関する指針」及び「ヒトiPS細胞又はヒト組織幹細胞からの生殖細胞の作成を行う研究に関する指針」等の一部改正について（通知）</li> <li>・「認知症介護実践者等養成事業の円滑な運営について」の一部改正について</li> <li>・「介護員養成研修の取扱細則についての一部改正について」及び「新型コロナウイルス感染症にかかる介護員養成研修（介護職員初任者研修・生活援助従事者研修）の臨時的な取扱いの廃止について」</li> </ul>
4月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度（令和7年度からの繰越分）病床数適正化緊急支援事業の実施について</li> <li>・病床数の適正化に対する支援事業に関する地域における医療及び介護の総合的な確保に関する法律第7条の2第2項に係る運用について</li> <li>・一般名処方加算対象外となった品目の一般名処方について</li> <li>・日本医学会「第168回日本医学会シンポジウム」ご案内の送付について</li> <li>・「被保護者健康管理支援事業の手引き（第2版）」等について</li> <li>・令和7年度厚生労働省委託事業における作成物及び調査結果等の公開について（ACPの普及促進及び在宅医療提供体制の充実等）</li> <li>・「疑義解釈資料の送付について（その2）」の一部訂正について</li> <li>・「医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」の一部改正について</li> <li>・「生活保護法による医療扶助運営要領について」の一部改正について</li> <li>・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱の一部改正について</li> </ul>
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査の公費負担の状況にかかる調査結果について</li> <li>・第57回全国学校保健・学校医大会「分科会」の演題募集について（依頼）</li> <li>・介護施設・事業所等における災害時情報共有システムに係る平時における物資の備蓄状況等報告機能の追加について</li> <li>・介護保険法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）</li> <li>・「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について</li> <li>・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」及び「「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に関するQ&amp;A（事例集）」の一部改正について（通知）</li> </ul>

送付日	文 書 名
4月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和8年度（令和7年度からの繰越分）病床数適正化緊急支援事業の実施について（通知）</li> <li>・ 経済産業省による令和7年度補正予算省エネ・非化石転換補助金の公募期間等について（情報提供）</li> <li>・ ゴールデンウィーク（5/2～5/6）における副作用等報告、不具合等報告及び予防接種後副反応疑い報告に係る受付並びに取扱い等について</li> <li>・ 地域医療情報システム（JMAP）の改修について</li> <li>・ 令和8年度スポーツによる地域活性推進事業における協力依頼について</li> <li>・ 医療法施行規則の一部を改正する省令の公布等について（通知）</li> <li>・ 社会医療法人，特定医療法人，認定医療法人，オープン病院（開放型病院）事業法人，福祉病院事業法人及び厚生農業協同組合連合会が行う訪日外国人患者の自由診療に係る診療費の上限の緩和に伴う認定又は承認等の要件の見直しについて</li> </ul>
4月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和8年度診療報酬改定に係る施設基準届出チェックリストのご案内について</li> <li>・ MAMIS機能追加に伴う設定確認のお願いについて（かかりつけ医機能報告制度にかかる研修修了申請）</li> <li>・ 病院等における医療の安全を確保するための措置について（通知）</li> <li>・ 外来医師過多区域に係る候補区域の公表について（通知）</li> <li>・ 出産育児一時金等の受取代理制度の届出について（令和8年度）</li> <li>・ 糖尿病普及啓発資材の周知・活用について</li> <li>・ 電子処方箋管理サービスにおける処方箋等の提供に関する情報の送付方法及び電子カルテ情報共有サービスにおける電子診療録等情報の提供等に関する情報の送付方法等について（通知）</li> <li>・ 疑義解釈資料の送付について（その3）</li> <li>・ 地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律第31条等の解釈について（通知）</li> <li>・ 医療法等の一部を改正する法律の一部の施行等について（オンライン診療関係）（通知）</li> <li>・ 医療法施行令及び地方自治法施行令の一部を改正する政令等の施行について（通知）</li> <li>・ 医療法施行令等の一部を改正する政令及び医療法施行規則等の一部を改正する省令の公布及び施行について（地域外来医療（医療法）関係）（通知）</li> <li>・ 「医療法施行規則の一部を改正する省令」の公布等について（通知）</li> <li>・ 「医師法施行規則及び歯科医師法施行規則の一部を改正する省令」の公布について（通知）</li> </ul>

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

**TEL.0985-20-1211**

FAX.0985-27-6550 E-mail [iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp](mailto:iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp)

## 日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

### ■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

### ■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

### ■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

### ～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

### ■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

### ■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

### ■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

### ■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

## あとかき



いつまでも若手のつもりでおりましたが、気がつけば50代に入り、この5月で53歳となります。子の成長に時の流れを感じる一方、自身も人生の折り返しを過ぎたことを実感する年齢となりました。

実は広報委員を引き受けた際、私はまだ医師会員ではありませんでした。県外科医会の先輩からの依頼をきっかけに関わることとなりましたが、活動を通じてその意

義に触れ、昨年8月に入会いたしました。以前は一勤務医として、目の前の診療に奔走するあまり、医療制度や経営への関心は決して高くありませんでした。しかし、病院運営に携わる中で、診療報酬や制度の動向が現場の意思決定に直結している現実を強く意識するようになりました。こうした課題に対し、医師会という場を通じて考え、発信していく重要性を今、強く認識しております。

医療DXや働き方改革、高騰する薬剤費など、我々を取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、いかに制度が変わろうとも、目の前の患者さん一人ひとりに向き合う原点は変わりません。現場の医師として、持続可能な医療をどう支えていくか。山積する課題を一つひとつ紐解きながら、皆さまとともに歩んでいければ幸いです。

『日州医事』が会員の先生方にとって有益で、ふと手に取りたくなる媒体となるよう努めるとともに、現場の切実な声を丁寧にすくい上げ、届けてまいります。今後ともご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(永野)

\* \* \*

4月17日～4月19日に日本呼吸器学会学術講演会へ参加しました。今年は神戸コンベンションセンターで開催されました。ここ2年弱は緩和ケアを中心の業務だったため、呼吸器領域はやや疎遠になっていましたが、今年から呼吸器内科にも力を入れることになり、学び直しも含めての参加となりました。呼吸器の領域は、喘息、COPD、感染症（肺炎、結核など）、間質性肺炎、腫瘍（癌）、循環障害（肺高血圧症）、睡眠時無呼吸症候群など幅広く、それぞれに専門家がいて最新の知見を学ぶことができました。（高橋）

\* \* \*

本年度より広報委員を務めることになりました。医師会活動としては、学校保健にも関わっています。昨年度より日本大学附属中学校の学校検診事業も始まり、宮崎市郡医師会域としては検診実施率100%を達成することができました。が、他地域での検診実施率は低く、地域格差が大きく課題山積しております。広報としても、学校保健としても皆さまに分かりやすく役立つ情報を届けられるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。（竹尾）

\* \* \*

4月から広報委員を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。いままで文章の校正に携わる機会はあまりなかったので、勉強しないといけないなあと思い、「【新版】日本語の作文技術（朝日文庫）本多勝一（著）」という書籍を買いました。文系の方の視点は、私たち医師とはまた違うようで興味深いです。しかし、若かりしときほどのスピードと理解力では読めないですね。ゆっくり楽しんで読んでいます。（池田）

\* \* \*

中学3年生のころから、5年日記というものを付けています。5年分の同じ日付が縦に並んだ日記で、書きながら去年の自分を振り返れるというもの

です。今年で9年目に突入しました。書き忘れて空欄のままの日も多いですが、続けていて一番の醍醐味は、時折ドラマでいう「神回」のような日があったときにそれを記録に残せることです。急に思い立って行ったお出かけがすごく楽しかったり、運のいいことが続いた時の感情を、いつでも見返して思い出せるのでおすすめです。（安丸）

\* \* \*

今月号より広報委員を務めさせていただきます、宮崎大学医学部4年の日高想大と申します。趣味は運動で、大学ではソフトテニス部、すずかけ太鼓、陸上部に所属しています。特にソフトテニスでは、春の九山で2連覇を達成し、西医体では今年こそ全医体出場を目指して、部員とともに日々練習に励んでいます。校正の経験はありませんが、この機会に宮崎の医療について学び、卒業後に宮崎で医師として働く際に生かしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。（日高）

\* \* \*

イランのホルムズ海峡封鎖により、日常生活がいかに石油に依存しているかを思い知ります。わたしの所では自宅と医院に太陽光発電を設置していて、電気自動車を充電できるようにしていますので、こうした事態になると心強いです。（佐々木）



令和8年度広報委員会メンバー

## 今月のトピックス

### 随筆 臨床推論の深淵(前編) The abyss of clinical reasoning-to avoid the cognitive bias (Part1)

北村和生先生による、ご義兄の闘病を通じた臨床推論の手記です。乳頭部癌からの肝転移と診断された病変が、開腹後の迅速診断で転移ではないとされ、結局は再生結節であったと判明するまでの緊迫した展開。病理出身の先生ならではの鋭い視点とご家族としての切実な思いが描かれており、後編が非常に待ち遠しいです。 8 ページ

### 随筆 性差と身体能力

中山健先生に、IOCのトランスジェンダー選手の女子競技参加制限の話題を端緒に、スポーツにおける性差と身体能力についてご解説いただいております。SRY遺伝子の働きや、性が多層的・連続的なスペクトラムであるという最新の医学的知見をふまえた考察は、大変勉強になります。 12ページ

### メディアの目 病気を診ずして病人を診よ 高木兼寛の遺訓

データサイエンスが全盛の現代においてこそ、患者さんとの対話を重んじるコミュニケーション能力が求められるという指摘は、我々の日々の診療姿勢を改めて見つめ直すよいきっかけとなります。 20ページ

### 身近なお困りごと相談室 第57回 精神不調で休職する職員対応

メンタル不調による休職職員への労務対応の解説です。「プロセスを書面に残す」ことの重要性や、就業規則の整備など、トラブルを未然に防ぐための実践的なアドバイスが詰まっています。 21ページ

### 診療メモ 成人先天性心疾患 (ACHD) - 専門医および非専門医の先生方へ

小児期に手術を受けた先天性心疾患の患者さんが成人期を迎えるにあたり、小児科から成人循環器内科への「移行期医療 (Transition)」の重要性が解説されています。生涯にわたるフォローが必要な中での、診療科間のスムーズな連携のあり方に大いに啓発されます。 74ページ

### 宮大医学部学生のページ 宮崎大学医学部附属病院の木曜休診、土曜診療について

医療を「社会インフラ」と捉え現場を守り抜く院長の強い覚悟と、それに触れて病院経営や自身の将来の働き方を見つめ直す学生さんたちの頼もしい姿勢に、今回も大きな刺激を受けました。 76ページ

(文責：下窪 徹)

日 州 医 事 第921号 (令和8年5月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<https://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 永野 元章

副委員長 下窪 徹, 高村 一紘

委 員 高橋 聡, 川畑 武彦, 竹尾 輝久,

池田 俊郎, 持田 幸代

学生委員 野間 貫太, 安丸 佳苗, 富田あさひ, 日高 想大

担当副会長 金丸 吉昌

担当理事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事務局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)